



打ち水イベント

# 春日井市 環境報告書 令和元年度版



冬のエコツアー



パナソニック エコシステムズ株式会社 環境絵画コンクール 春日井市長賞

春日井市環境基本計画

春日井市地球温暖化対策実行計画

## 目 次

### 第1部 環境基本計画の実施状況

	ページ
第1章 環境基本計画の概要	1
第2章 数値目標	1
第1節 雨水浸透率	2
第2節 みどり率	4
第3節 ごみ廃棄量	6
第4節 温室効果ガス排出量	8
第5節 環境基準達成率	10
第6節 環境まちづくり参加人数	12
第3章 重点的取組み	13
第1節 地球環境を保全する	13
第2節 自然を守り自然に親しむ	19
第3節 ごみを減らし資源を有効に活用する	23
第4節 市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める	25

### 第2部 地球温暖化対策実行計画の実施状況

	ページ
第1章 地球温暖化対策実行計画の概要	31
第2章 温室効果ガス排出量	32
第1節 温室効果ガス排出量の推移	32
第2節 温室効果ガス排出量増減の主な要因	33
第3章 主な取り組み	34
第1節 緩和策 (温室効果ガス削減に向けた取組み)	34
第2節 適応策 (気候変動の影響に対処する取組み)	39
第4章 成果指標の進捗状況	42

# 第1部 環境基本計画の実施状況

## 環境報告書とは

環境報告書は、計画の進行管理を適切に行うため作成しており、環境基本計画に基づく環境目標の実現に向けて実施した取組と、地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス削減目標の達成に向けて実施した取組をまとめたものです。

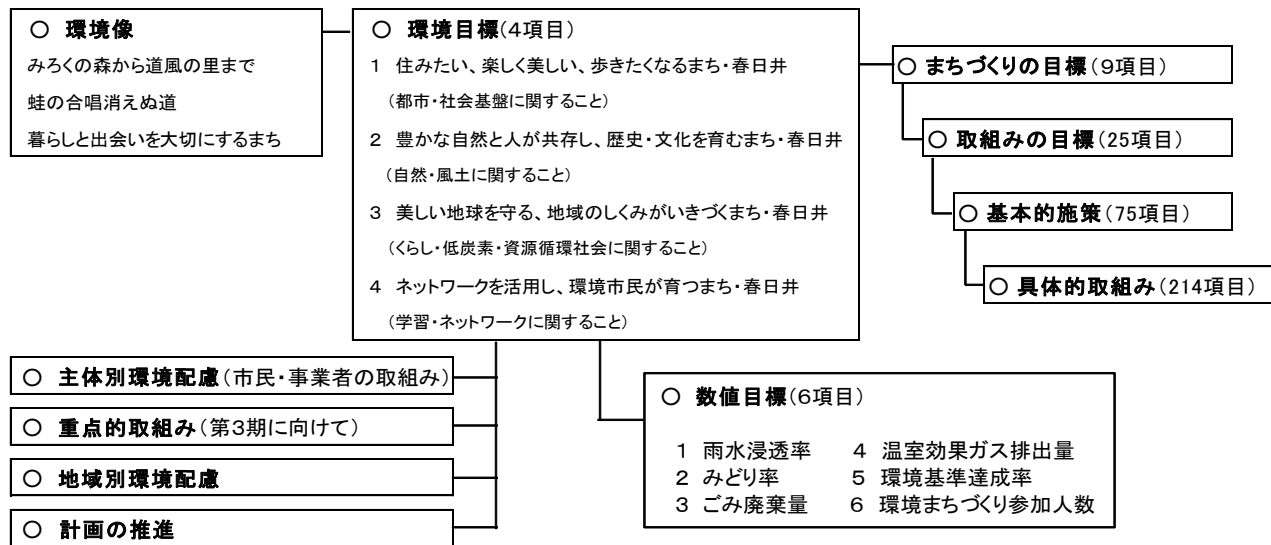
取組み一覧をとりまとめた別冊資料等については、以下の春日井市ホームページでご覧いただけます。(市ホームページ:<http://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/gomi/houkoku/index.html>)



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

## 第1章 環境基本計画の概要

### ○計画の体系



## 第2章 数値目標

4つの環境目標の実現に向け、目標の達成状況を分かりやすいものにするため、6つの数値目標を設定しています。平成30年度の数値目標の達成状況は、次のとおりです。

項目	基準年度	数値目標		平成30年度
雨水浸透率	—	0.36以上		0.368
みどり率	—	将来市街地	10%以上	26.1% (平成26年度実績)
		市域全体	30%以上	42.0% (平成26年度実績)
ごみ廃棄量 <sup>※</sup>	平成22年度	ごみ排出量	130g削減 (1人1日あたり)	64g削減
		家庭系ごみ排出量	15%削減	14.5削減
		事業系ごみ排出量	20%削減	1.7%増加
温室効果ガス排出量 <sup>※</sup>	平成20年度	市内全域	17%削減	0.7%増加 (平成29年度実績)
環境基準達成率	—	大気6項目、水質4項目、騒音2項目における各項目の達成状況	各項目で100%達成	11項目達成
環境まちづくり参加人数	—	イベント等への参加人数	総人口の10%	18.0%

※「ごみ廃棄量」「温室効果ガス排出量」の数値目標は平成31年3月に「ごみ処理基本計画」「地球温暖化対策実行計画」を改定したことに伴い変更となりました。改定後の数値目標等について「ごみ廃棄量」は別に公表している「ごみ処理基本計画」、「温室効果ガス排出量」は本報告書31ページをご覧ください。

## 第1節 雨水浸透率

環境目標1: 「住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井」に関する数値目標

市域全体での雨水浸透率 0.36以上

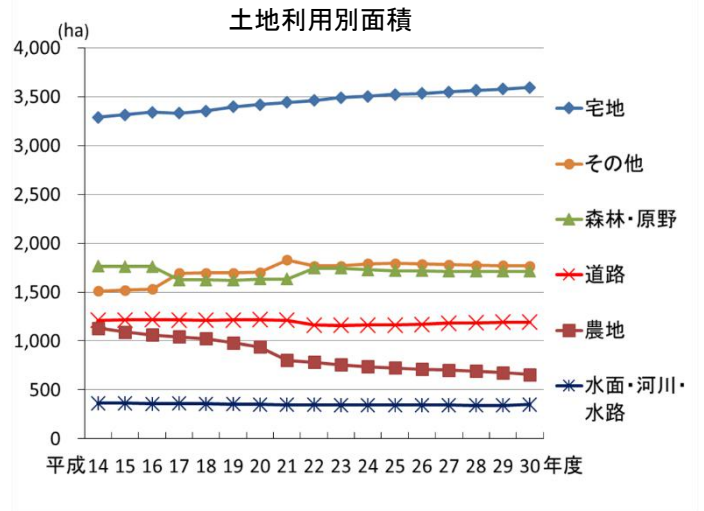
雨水浸透率は、水循環を表す指標の一つで、水害の防止、ヒートアイランド現象の緩和、地下水の保全に関わるものです。森林、農地の保全及び宅地・道路の浸透能力の向上を図ることによって、雨水浸透率の確保をめざします。

### ○ 平成30年度 土地利用別雨水浸透率

土地利用種別		基準浸透率	面積(ha)	基準浸透率 × 面積
宅地	建ぺい地	0.0	1,042.8	0.0
	その他	0.2	2,553.2	510.6
農地	田	0.8	340	272.0
	畑	0.8	317	253.6
森林・原野		0.8	1,713	1,370.4
道路		0.1	1,193	119.3
水面・河川・水路		0.0	350	0.0
その他		0.5	1,769	884.5
計			9,278	3,410.4

↑ ①

↑ ②



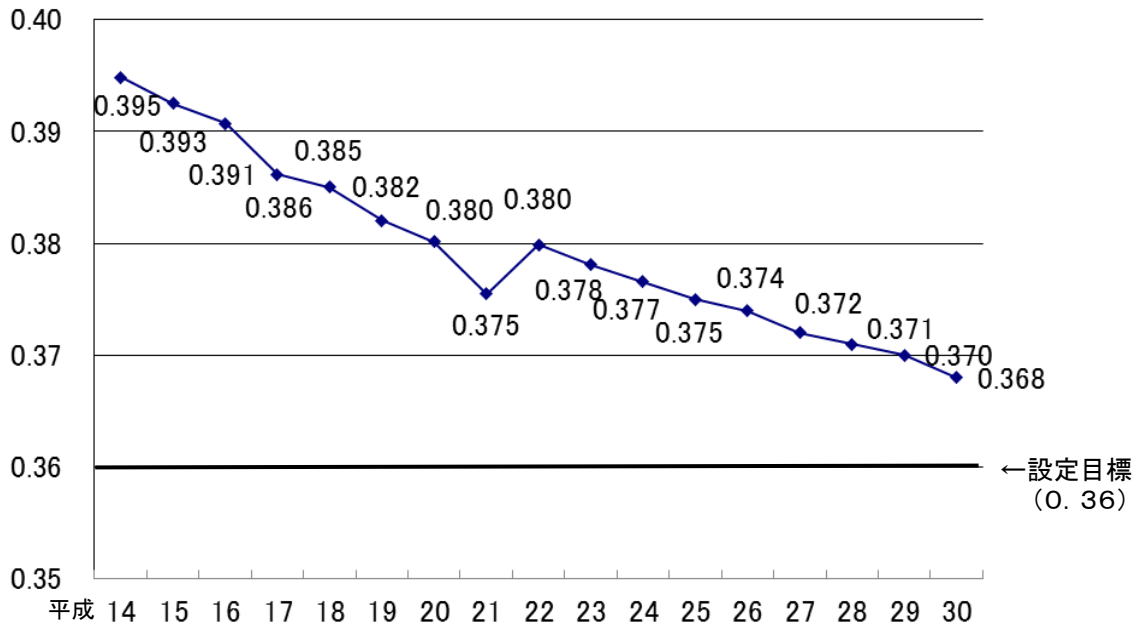
### ○ 平成30年度 透水性舗装における雨水浸透率

実施区分		基準浸透率	面積(ha)			基準浸透率 × 面積
			平成14~29年	平成30年度	累計	
道路対策	歩道	0.7	9.86	0.07	9.93	6.95
駐車場対策	公共	0.7	1.05	0.00	1.05	0.74
公園対策	公共	0.7	0.73	0.00	0.73	0.51
計					11.71	8.20

↑ ③

$$\text{雨水浸透率} = \frac{\text{②} + \text{③}}{\text{①}} = \frac{3,410.4 + 8.20}{9,278} = 0.368$$

雨水浸透率



※平成 22 年は集計方法の見直しにより、道路、その他に分類されていた土地(約 100ha)が森林・原野(国有林)として集計されたため上昇。

○ 結果

雨水浸透率は、土地利用別雨水浸透率と透水性舗装における浸透率の和で算出され、平成 30 年度は、0.37(0.368)でした。

雨水浸透率を経年変化で見ると、14 年度以降、減少傾向で推移しています。

## 第2節 みどり率

環境目標2: 「豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井」に関する数値目標

将来市街地でみどり率10%以上、市域全体でみどり率30%以上

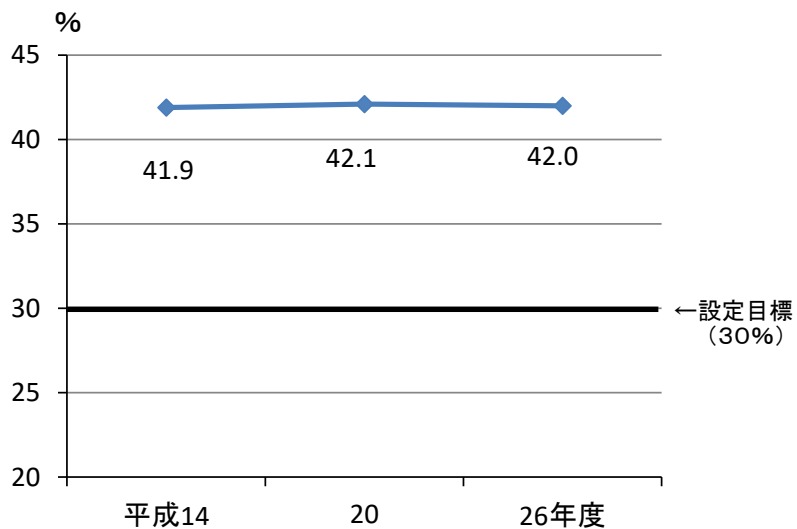
みどり率は、森林、農地、草地などの緑の量を表す指標の一つで、生物の生息環境など自然に関わるものです。緑は、都市化によって減少しますが、森林、農地の保全や市街地における緑化の推進により、みどり率の確保をめざします。

○ みどり率（平成26年8～10月の航空写真を基に算出したもの）

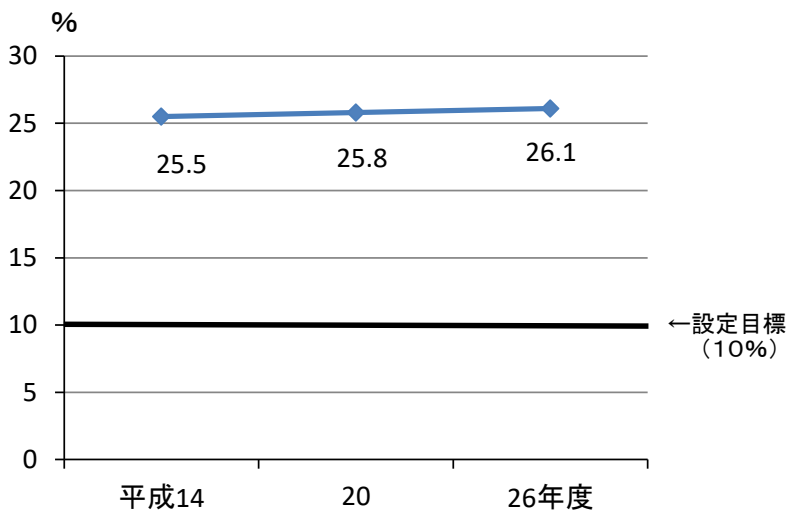
区分	市域全体	将来市街地※
樹林地	2,226.9ha	610.4ha
竹林	56.5ha	22.9ha
街路樹	35.9ha	31.9ha
芝地	288.1ha	164.7ha
草地	577.2ha	397.9ha
水田	332.3ha	149.6ha
畑	278.3ha	181.2ha
果樹園	98.6ha	65.2ha
その他農地	2.2ha	1.7ha
緑地計	3,896.0ha	1,625.5ha
全面積	9,278 ha	6,226 ha
みどり率	42.0%	26.1%

※ 将来市街地とは、現在の市街化区域に加え、総合計画で位置づけられた市街地開発事業等の予定区域、市街化調整区域の人口集中地区、及びこれらに隣接する市街化調整区域の住宅団地等を示します。

みどり率(市域全体)



みどり率(将来市街地)



○ 結果

みどり率は、航空写真から緑と認められるものを算出します。平成26年度に算出した結果(26年8～10月に撮影した航空写真を基に算出したもの)は、市域全体で42.0%、将来市街地で26.1%であり、ともに目標値を達成しています。

### 第3節 ごみ廃棄量

環境目標3: 「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづまち・春日井」に関する数値目標

1人1日あたりのごみ排出量	130g削減	} (平成22年度比)
家庭系ごみ排出量	15%削減	
事業系ごみ排出量	20%削減	

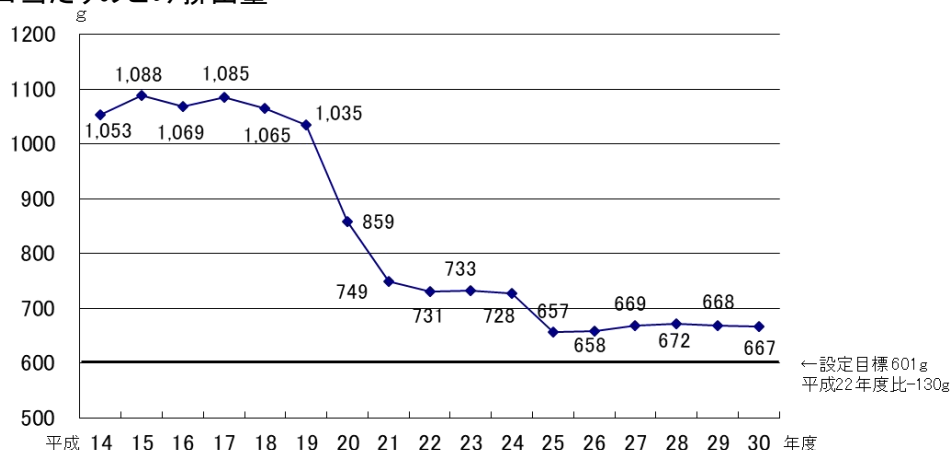
市が収集(処理)したごみから資源として回収された量を除いたものをごみ排出量とし、ごみの減量やリサイクルを進めることにより、ごみ排出量の削減をめざします。

#### ○ 平成30年度の状況

項目	合計
① ごみ総収集量	91,677 t
② 処理過程資源回収量※1	4,246 t
③ 資源収集量	11,665 t
④ ごみ量(①-②-③)	75,766 t
⑤ 総人口(平成31年4月1日現在)	311,326 人
⑥ 1人1日当たりのごみ排出量	667 g/人・日 (平成22年度比 -64g)

※1 クリーンセンターでの処理過程において発生した資源量

#### 1人1日当たりのごみ排出量

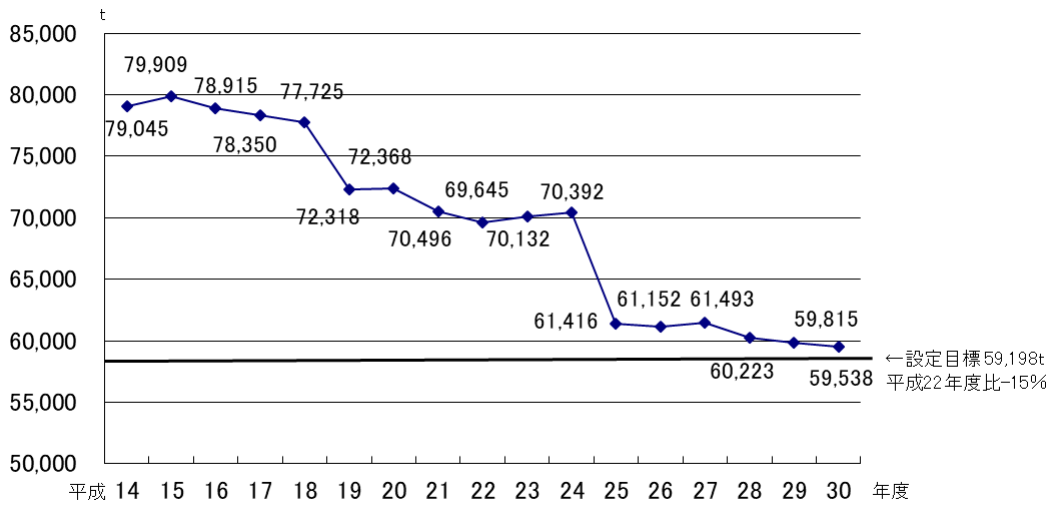


#### ○ 平成30年度 家庭系ごみ排出量及び事業系ごみ排出量

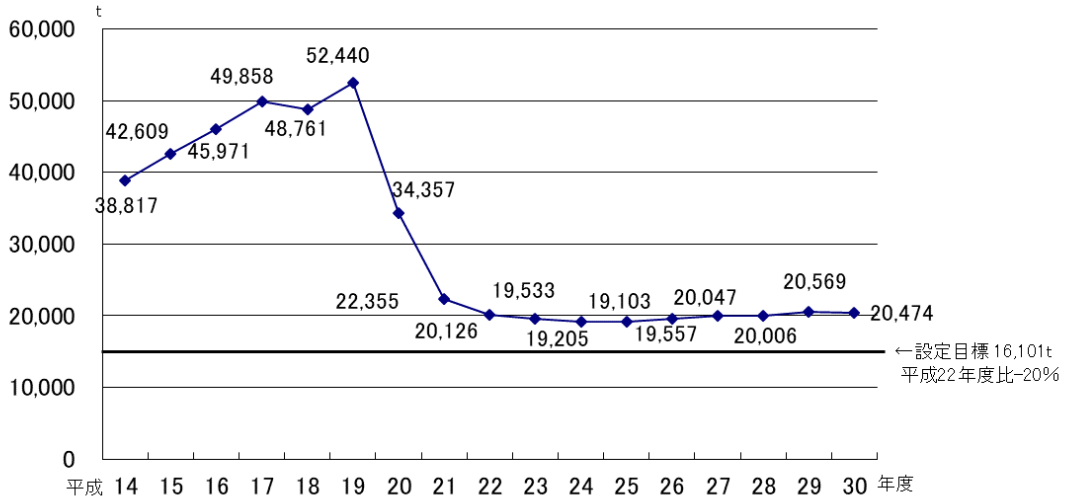
項目	平成22年度 (基準年度)	平成30年度	増減率 (基準年度比)
① 家庭系ごみ排出量	69,645 t	59,538 t	-14.5%
② 事業系ごみ排出量	20,126 t	20,474 t	1.7%



① 家庭系ごみ排出量



② 事業系ごみ排出量



○ 結果

平成 30 年度の1人1日当たりのごみ排出量は 667gであり、基準年度(731g)と比べ 64g の削減となっています。

平成 30 年度の家庭系ごみ排出量は、59,538t であり、基準年度(69,645t)と比べ、14.5%の削減となっています。

また、平成 30 年度の事業系ごみ排出量は、20,474t であり、基準年度(20,126t)と比べ、1.7%の増加となっています。

なお、平成 31 年3月にごみ処理基本計画を改定しました。

その中で、数値目標について、1人1日あたりごみ排出量を 2017(平成 29)年度比で 47 グラム削減するなどの目標を掲げています。

詳細については、別に公表している「ごみ処理基本計画」(市ホームページ：<https://www.city.kasugai.lg.jp/shimin/gomi/gomi/kihonkeikaku/index.html>) をご覧ください。

## 第4節 温室効果ガス排出量

環境目標3: 「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづま・春日井」に関する数値目標

市内全域の温室効果ガス排出量を17%削減(平成20年度比)

温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の効果を表す指標の一つです。各部門の排出量の総和とし、市民、事業者の協力により、削減をめざします。

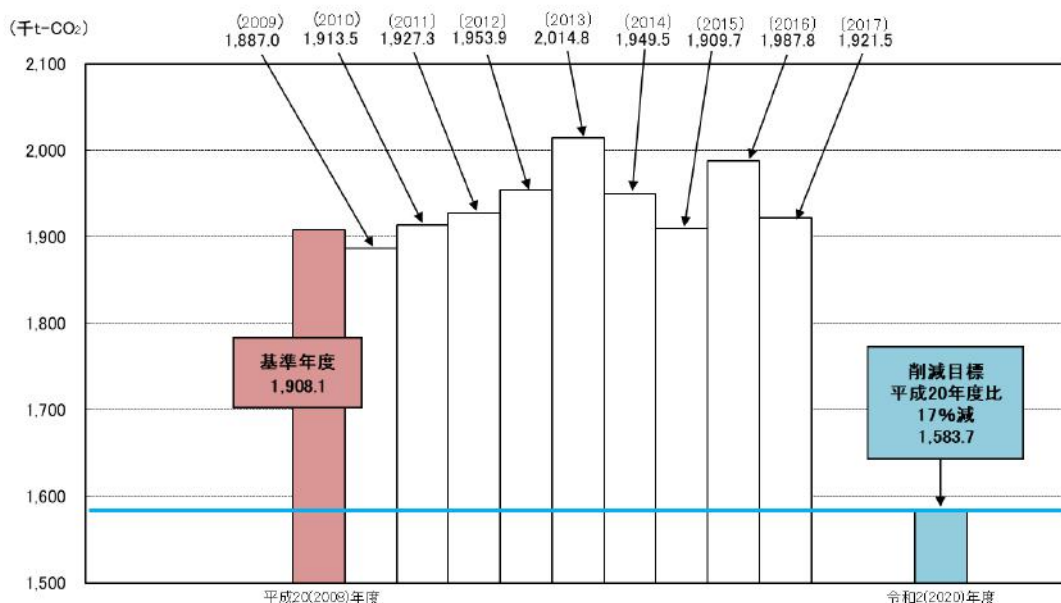
### ○ 平成29年度の温室効果ガス排出量

部門	平成20年度(2008) (基準年度)	平成29年度(2017)		増減率 (基準年度比)	
	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	構成比		
二酸化炭素排出量	産業部門	760,955.3	770,880.9	40.1%	1.3%
	民生家庭部門	304,993.1	292,045.8	15.2%	-4.2%
	民生業務部門	393,619.7	390,269.6	20.3%	-0.9%
	運輸部門	405,367.1	440,031.8	22.9%	8.6%
	廃棄物部門	31,310.5	19,309.1	1.0%	-38.3%
	小計	1,896,245.6	1,912,537.1	99.5%	0.9%
メタン排出量*	1,712.9	1,504.4	0.1%	-12.2%	
一酸化二窒素排出量*	10,116.3	7,489.1	0.4%	-26.0%	
<b>温室効果ガス排出量合計</b>	<b>1,908,074.8</b>	<b>1,921,530.6</b>	<b>100.0%</b>	<b>0.7%</b>	

※ メタン、一酸化二窒素の排出量は二酸化炭素排出量に換算

※ 四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。

### 温室効果ガス排出量の推移



## 部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

部門名	年度	平成20年度 (2008) (基準年度)	平成21年度 (2009)	平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	増減率 (基準年度比)
産業部門		761.0	716.7	721.9	704.9	730.9	750.1	754.7	727.3	799.7	770.9	1.3%
民生家庭部門		305.0	311.2	329.8	343.4	337.3	336.9	316.2	299.8	310.5	292.0	-4.2%
民生業務部門		393.6	418.9	423.7	432.8	437.5	475.8	420.4	422.7	410.6	390.3	-0.9%
運輸部門		405.4	404.5	404.3	411.4	415.9	422.1	428.0	431.5	438.1	440.0	8.6%
廃棄物部門		31.3	26.1	24.5	25.3	23.1	20.8	21.0	19.1	19.5	19.3	-38.3%
二酸化炭素排出量		1,896.2	1,877.4	1,904.0	1,917.8	1,944.8	2,005.6	1,940.3	1,900.3	1,978.4	1,912.5	0.9%

### ○ 結果

平成29年度の温室効果ガス排出量は、1,921.5千t-CO<sub>2</sub>であり、基準年度(1,908.1千t-CO<sub>2</sub>)に比べ0.7%増加しています。

部門別二酸化炭素排出量は基準年度と比べ、産業部門、運輸部門は増加し、民生家庭部門、民生業務部門、廃棄物部門は減少しています。

なお、平成31年3月に地球温暖化対策実行計画を改定しました。

その中で、温室効果ガス排出量の削減目標は基準年度を2013(平成25)年度、目標年度を2030(令和12)年度とし、26%削減する目標を掲げています。

詳細については31ページ(第2部 地球温暖化対策実行計画の実施状況)をご覧ください。

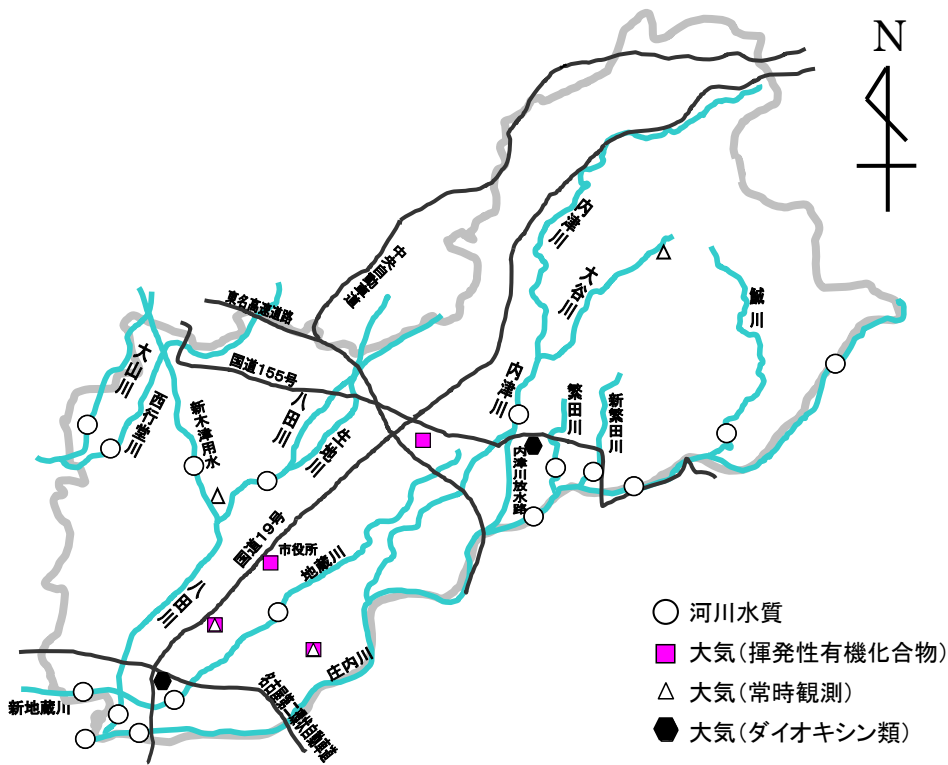
## 第5節 環境基準達成率

環境目標3: 「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづまち・春日井」に関する数値目標

大気、水質、騒音に関する環境基準について、項目ごとに 100%達成

環境達成率は、環境基本法において「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められている環境基準の適合状況を表す指標です。国、県、市民、事業者との連携による対策の推進により、環境基準の達成をめざします。

○ 大気・水質測定地点



○ 平成 30 年度 環境基準達成状況

指標		区分	測定値	単位	環境基準等	適合地点数 測定地点数	達成率(%)	適合 可否
大 気	① 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 日平均の2%除外値		0.006, 0.007	ppm	日平均の2%除外値が0.04ppm以下である こと。ただし、日平均0.04ppmを超えた日が 2日以上連続しないこと。	2/2	100	○
		超過日数	0	日				
	② 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ) 日平均値の年間98%値		0.016~0.035	ppm	日平均の年間98%値が0.06ppm以下であ ること	4/4	100	○
	③ 浮遊粒子状物質(SPM) 日平均の2%除外値		0.035~0.042	mg/m <sup>3</sup>	日平均の2%除外値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下で あること。ただし、日平均0.10mg/m <sup>3</sup> を超え た日が2日以上連続しないこと。	4/4	100	○
		超過日数	0	日				
	④ 一酸化炭素(CO) 日平均の2%除外値		0.35	ppm	日平均の2%除外値が10ppm以下であるこ と。ただし、日平均10ppmを超えた日が2日 以上連続しないこと。	1/1	100	○
超過日数		0	日					
⑤ 揮発性有機化合物 濃度平均値	ベンゼン	0.0006	mg/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.003mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	4/4	100	○	
	トリクロロ エチレン	<0.0003	mg/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.13mg/m <sup>3</sup> 以下であること。 <sup>※1</sup>	4/4			
	テトラクロロ エチレン	<0.0003	mg/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.2mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	4/4			
	ジクロロ メタン	0.0011~0.0016	mg/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.15mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	4/4			
⑥ 大気中のダイオキシン類 平均値		0.010, 0.013	pg- TEQ/m <sup>3</sup>	1年平均値が0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下であるこ と。	2/2	100	○	
水 質	⑦ 健康項目 (庄内川・市内中小河川)		全項目適合	—	27項目設定 <sup>※2</sup>	14/14	100	○
	⑧ 生活環境項目 生物化学的酸素要求量(BOD)の 75%値(庄内川)		0.7~3.8	mg/L	3mg/L以下又は8mg/L以下(河川区域によ る)	5/5	100	○
	⑨ 同(BOD)の75%値 (市内中小河川)		0.5~7.3	mg/L	(市独自目標) 8mg/L以下	12/12	100	○
	⑩ 健康項目(地下水)	メッシュ別調査	全項目適合	—	28項目設定 <sup>※3</sup>	1/1	100	○
騒 音	⑪ 環境騒音(一般)	昼間	41~56	デシベル	55~60デシベル以下(地域による)	9/9	100	○
		夜間	34~48	デシベル	45~50デシベル以下( " )	9/9	100	
	⑫ 環境騒音(自動車騒音)	昼間	64~73	デシベル	70デシベル以下	10415/10490	99.3 <sup>※4</sup>	×
		夜間	59~69	デシベル	65デシベル以下	10328/10490	98.5 <sup>※4</sup>	

※1: 環境基準が「1年平均値が0.2mg/m<sup>3</sup>以下であること」から「1年平均値が0.13mg/m<sup>3</sup>以下であること」に改定された。(平成30年11月19日)

※2: カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサンの27項目。

※3: ※2のうち、シス-1,2-ジクロロエチレンに代わり、1,2-ジクロロエチレン、クロロエチレンを加えた28項目。

※4: 騒音⑫環境騒音(自動車騒音)の達成率は、対象とする全戸数の達成率。

○ 結果

平成 30 年度は、大気、水質、騒音に関する全 12 項目の指標中、二酸化硫黄を始めとする 11 項目が達成しています。

## 第6節 環境まちづくり参加人数

環境目標4: 「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづつまち・春日井」に関する数値目標

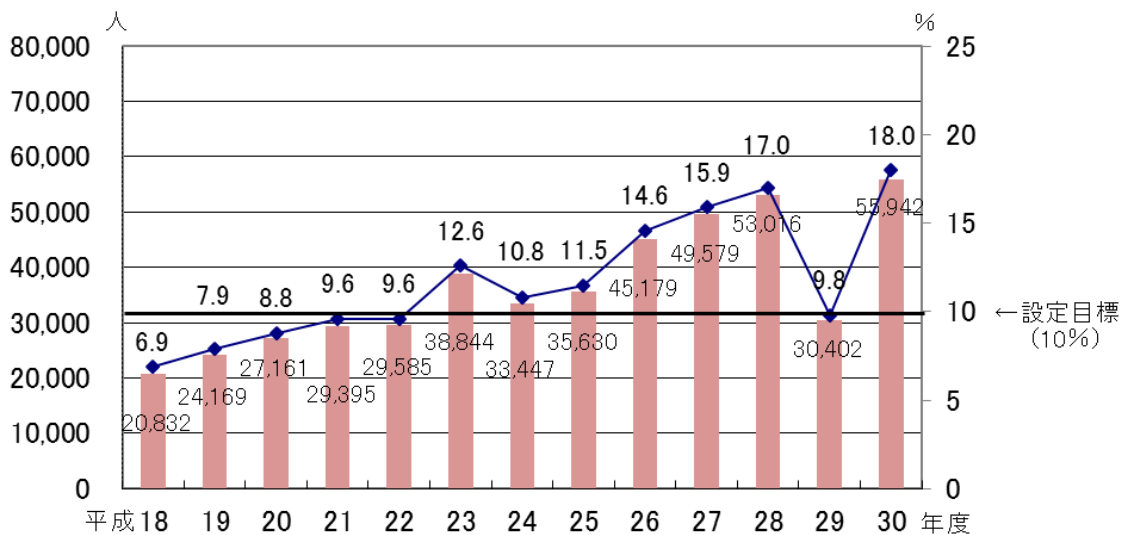
環境に関するイベント等への参加人数が、総人口の 10%以上

市民、事業者の参加による環境まちづくりの進み具合を表す指標の一つです。環境まちづくりへの参加を推進し、イベント等への参加者が増えることをめざします。

### ○ 平成 30 年度 環境まちづくり参加人数

分類		環境まちづくり参加人数 (総人口比)
1	環境に関するイベントなど	40,107 人
2	環境に関する講座など	11,450 人
3	環境に関連した市民団体など	895 人
4	その他環境に関する市民、事業者の活動	3,490 人
合計		55,942 人 (18.0%)

### 環境まちづくり参加人数



### ○ 結果

平成 30 年度の環境まちづくり参加人数は 55,942 人で、総人口 311,326 人(平成 31 年4月1日現在)に対し、18.0%となっており、目標値より 8.0%高くなっています。

※平成 29 年度の春日井まつりにおけるエコワールド(平成 30 年度は 23,636 人が参加)は、悪天候のため中止。

### 第3章 重点的取組み

#### 第1節 地球環境を保全する(低炭素社会)

##### (1)再生可能エネルギーの利用の促進

#### 市民環境フォーラム

具体的取組み番号 119

##### 【取組み内容等】

市民の環境活動への取組みの推進と各団体や個人等の交流促進や環境情報を提供するため市民環境フォーラムを開催しました。

環境対策の推進や地域において環境活動の取組みを行っている個人や団体の功績をたたえる「かすがい環境賞」の表彰及び「環境パフォーマー」のらんま先生を迎え、環境問題・科学実験・パフォーマンスを融合させた「eco 実験パフォーマンス」を行っていただきました。様々な実験を通じて、幅広い年代の方が自然のエネルギーについて学ぶことができました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

##### 市民環境フォーラム(平成 30 年度)

開催日	場所	参加者	内容
9月 22 日(土)	東部市民センター	300 人	○「かすがい環境賞」表彰 個人: 巽 二郎 美馬 義夫 団体: 出川区 大和エネルギー株式会社 ○基調講演 演目: 「らんま先生の eco 実験パフォーマンス」 講師: 「環境パフォーマー」らんま先生



「かすがい環境賞」表彰



eco 実験パフォーマンスの様子

## 住宅用太陽光発電システム等の設置補助

具体的取組み番号 119

### 【取組み内容等】

家庭において、エネルギーの有効利用や二酸化炭素の排出を抑制するため、太陽光発電システム等の設置に対し、補助を実施しました。

なお、平成 10 年度からの累計で、4,710 件、21,667kW の太陽光発電システムに対し助成を実施し、年間約 10,300t<sup>\*</sup>の二酸化炭素排出削減が見込まれます。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

### 住宅用地球温暖化対策機器設置費補助件数

システムの種類	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
太陽光発電システム	353 件	298 件	316 件
燃料電池システム	133 件	124 件	116 件
家庭用エネルギー管理システム	49 件	78 件	109 件
定置用リチウムイオン蓄電システム	41 件	60 件	112 件

※最大出力値×1,000×中部電力(平成 30 年度)の二酸化炭素排出係数 0.476 (kg-CO<sub>2</sub>/年)

## エコライフセミナー

具体的取組み番号 119

### 【取組み内容等】

家庭のできる地球温暖化対策や環境に優しいライフスタイルへの転換について学び、考え、実践してもらうきっかけづくりとして、エコライフセミナーを実施しました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

### エコライフセミナー(平成 30 年度)

イベント名	講師	開催日	場所	参加者	内容
竹であそぼう！ ～水でつぼう作り～	かすがい 環境まちづくり パートナーシッ プ会議	8月 1日 (水)	文化フォーラム 交流アトリウム	19 組 46 人	COOL CHOICE に関する動画を鑑賞して地球温暖化について学んだ後、自然素材である竹を使って水でつぼうを作り、日本古来の涼み方である「打ち水」を実施し、環境に優しいライフスタイルへの転換を学んだ。
地球の環境と天然ガス～超低温の世界を体験～	東邦ガス 株式会社	2月 16日 (土)	知多公民館	3組 7人	地球温暖化の現状と課題についての動画鑑賞や、様々な実験を通じて天然ガスの特性について学び、楽しみながら省エネの大切さを理解することができた。



竹であそぼう！～水でつぼう作り～と打ち水の様子



地球の環境と天然ガス～超低温の世界を体験～の様子



【取組み内容等】

公共施設の屋根等を利用し、自然エネルギーを活用した太陽光発電システムの導入を進めるとともに、災害時の非常用の電源確保を図るなど公共施設の防災機能の向上にも努めています。

なお、本庁舎の太陽光発電システムによる平成 31 年 1 月から令和元年 12 月までの発電量の実績は 25,655.45kWh(交流電力)であり、約 12.2tの CO<sub>2</sub>を削減しました。

太陽光発電システム設置施設

No	施設名	設置年月	最大出力値	年間 CO <sub>2</sub> 削減量 <sup>※1</sup>
1	介護サービスセンター	平成 12 年2月	10.0 kW	4.8 t-CO <sub>2</sub>
2	丸田小学校	平成 14 年2月	30.0 kW	14.3 t-CO <sub>2</sub>
3	勝川駅南口立体駐車場	平成 14 年 11 月	6.5 kW	3.1 t-CO <sub>2</sub>
4	出川小学校	平成 19 年2月	30.0 kW	14.3 t-CO <sub>2</sub>
5	小野保育園	平成 23 年3月	5.0 kW	2.4 t-CO <sub>2</sub>
6	少年自然の家	平成 24 年3月	40.0 kW	19.0 t-CO <sub>2</sub>
7	エコメッセ春日井	平成 24 年3月	10.0 kW	4.8 t-CO <sub>2</sub>
8	神領保育園	平成 25 年3月	5.0 kW	2.4 t-CO <sub>2</sub>
9	落合公園体育館	平成 25 年4月	10.0 kW	4.8 t-CO <sub>2</sub>
10	知多公民館 <sup>※2</sup>	平成 26 年3月	49.5 kW	23.6 t-CO <sub>2</sub>
11	総合保健医療センター <sup>※2</sup>	平成 26 年4月	47.5 kW	22.6 t-CO <sub>2</sub>
12	東部調理場	平成 26 年9月	30.0 kW	14.3 t-CO <sub>2</sub>
13	東部市民センター <sup>※2</sup>	平成 27 年 12 月	60.2 kW	28.7 t-CO <sub>2</sub>
14	総合福祉センター <sup>※2</sup>	平成 28 年1月	38.7 kW	18.4 t-CO <sub>2</sub>
15	坂下公民館	平成 28 年1月	20.0 kW	9.5 t-CO <sub>2</sub>
16	衛生プラント処理棟 <sup>※2</sup>	平成 28 年3月	125.1 kW	59.6 t-CO <sub>2</sub>
17	味美ふれあいセンター <sup>※2</sup>	平成 28 年3月	49.5 kW	23.6 t-CO <sub>2</sub>
18	西部ふれあいセンター <sup>※2</sup>	平成 28 年3月	47.3 kW	22.5 t-CO <sub>2</sub>
19	総合体育館 <sup>※2</sup>	平成 28 年3月	51.6 kW	24.6 t-CO <sub>2</sub>
20	新藤山台小学校 <sup>※2</sup>	平成 28 年3月	30.0 kW	14.3 t-CO <sub>2</sub>
21	柏原西保育園 <sup>※2</sup>	平成 28 年6月	36.0 kW	17.1 t-CO <sub>2</sub>
22	第三保育園 <sup>※2</sup>	平成 28 年7月	37.0 kW	17.6 t-CO <sub>2</sub>
23	青少年女性センター <sup>※2</sup>	平成 28 年7月	16.0 kW	7.6 t-CO <sub>2</sub>
24	JR春日井駅	平成 28 年7月	46.0 kW	21.9 t-CO <sub>2</sub>
25	第一保育園 <sup>※2</sup>	平成 28 年9月	56.7 kW	27.0 t-CO <sub>2</sub>
26	本庁舎	平成 28 年 12 月	20.7 kW	9.9 t-CO <sub>2</sub>
27	清掃事業所 <sup>※2</sup>	平成 28 年 12 月	315.9 kW	150.4 t-CO <sub>2</sub>
28	市営下原住宅 <sup>※2</sup>	平成 30 年 11 月	49.2 kW	23.4 t-CO <sub>2</sub>
合計			1,273.4 kW	606.1 t-CO <sub>2</sub>

(注) 四捨五入の関係により、計が一致しない場合があります。

※1: 最大出力値×1,000×中部電力(平成 30 年度)の二酸化炭素排出係数 0.476 (kg-CO<sub>2</sub>/年)

※2: 屋根貸しにより設置



JR春日井駅



市営下原住宅

(2)省エネルギー行動の促進

COOL CHOICE 啓発

具体的取組み番号 112

【取組み内容等】

国が進める国民運動「地球にやさしい賢い選択」COOL CHOICE の趣旨に賛同し、平成 29 年5月1日に市民・事業者・市民活動団体と連携して取組を推進することを宣言しました。

平成 30 年度は出前講座や、子ども環境アカデミー、エコドライブ講習会、エコライフセミナーなど様々な機会を捉え、通年に渡り普及啓発を行いました。

COOL CHOICE 啓発(平成 30 年度)

イベント名	開催日	場所	内容
消費生活展	6月8日(金) ～9日(土)	市役所 市民ホール	愛知県地球温暖化防止活動推進センターと連携し、パネル展示を行う他、手回し発電機や自転車発電機により省エネについて体験するブースを設置した。
エコライフセミナー (P14 参照)	8月1日(水)	文化フォーラム 交流アトリウム	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議と連携し開催。冒頭で環境省の作成した動画「イマとミライ」により家庭でもできる温暖化対策について啓発した。
子ども環境アカデミー 第2回(P27 参照)	8月 25 日(土)	中部電力(株) 川越火力 発電所	手回し発電機などを使った発電実験や発電所内部を見学した。実験を通して発電の仕組みを学び、見学や体感することで電気を生み出す大変さを知り、省エネの大切さを実感した。
気象予報士出前講座 (P26 参照)	9月 10 日(月) 9月 25 日(火)	高森台・ 押沢台・ 春日井 小学校	NPO法人気象キャスターネットワークと連携し、気象予報士を講師とし、地球温暖化の仕組みや影響、将来予測について学ぶほか、日常生活でどのようなエネルギーをいつ使っているかを想像し、自分たちができる省エネ行動を考えた。
エコワールド (P28 参照)	10 月 20 日(土) ～21 日(日)	中央公園	環境政策課ブースにて、全国地球温暖化防止活動推進センターと連携し、パネルや各国のエネルギー使用量を重さに換算したカバンを展示し、省エネについて考えてもらうブースを設置した。
市民環境アカデミー第 3回(P25 参照)	11 月 16 日(金)	中部電力(株) 碧南火力 発電所	国内最大の石炭火力発電所の見学を通じて、身近なエネルギーである電気を生み出すために大量の石炭が使われていることを目の当たりにし、改めて省エネルギーの大切さを学んだ。
エコドライブ講習会 (P36 参照)	11 月 29 日(木) 11 月 30 日(金)	マジオドライバ ーズスクール 春日井校	エコドライブ講習受講前後の走行燃費を比較し、エコドライブの効果を実感。環境にやさしいだけでなく、安全運転にもつながることを学んだ。
広報	12 月 1 日号	-	地球温暖化防止月間にあわせ、広報に啓発記事を掲載。
市職員出前講座 (P26 参照)	2月 18 日(月) 2月 22 日(金) 2月 25 日(月)	高座・柏原・ 鳥居松小学校 なかよし教室	環境省の「地球温暖化防止コミュニケーター」養成講座を修了した市職員が講師となり、動画や模型を用い地球温暖化についての講座を実施。身近な環境にやさしいマークを用いたゲームやクイズを通じて楽しみながら地球温暖化について学んだ。



消費生活展での展示の様子



春日井まつりエコワールドでの  
展示の様子

【取組み内容等】

毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、市民や事業者の皆さんそれぞれが地球環境に優しい行動を積極的に行う日としています。啓発チラシを作成・配布するほか、横断幕及び懸垂幕の設置、環境カレンダー(ごみ出しカレンダー)へ記載するなど啓発を図っています。

市役所では、毎月第1水曜日をノーカーDAYとし、市職員を対象に、自家用自動車での通勤を控え、公共交通機関や自転車等での通勤を奨励しています。

なお、平成 30 年8月1日(水)のエコライフDAYには、エアコンに頼らない日本古来の涼み方である「打ち水」を公共施設やかすがいエコオフィス認定事務所の市内各地で行いました。文化フォーラム(エコライフセミナー)で 63 人、その他市公共施設で 295 人(43 施設)、かすがいエコオフィスで 314 人(37 事業所)の皆様にご参加いただきました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス



打ち水の様子

打ち水参加エコオフィス認定事業所(平成 30 年度)

(50 音順)

番号	事業所名
1	愛知タイヤ工業株式会社 春日井工場
2	医療法人社団喜峰会 デイサービス喜峰
3	王子製紙株式会社 春日井工場
4	介護老人保健施設グレイスフル春日井
5	株式会社ウエダ
6	株式会社大垣共立銀行 味美支店
7	株式会社大垣共立銀行 ニュータウン特別出張所
8	株式会社大垣共立銀行 春日井支店
9	株式会社大垣共立銀行 春日井市役所出張所
10	株式会社大垣共立銀行 勝川支店
11	株式会社大垣共立銀行 高蔵寺支店
12	株式会社大垣共立銀行 如意申出張所
13	株式会社大垣共立銀行 東野支店
14	株式会社ティーイーティー
15	株式会社松浦組
16	亀甲通運株式会社
17	木野瀬印刷株式会社
18	グループホームグレイスフル八田
19	グレイスフル浅山
20	グレイスフル春日井

番号	事業所名
21	昭和精機株式会社 高蔵寺工場
22	第 2 グレイスフル春日井
23	大和エネルギー株式会社
24	中部精機株式会社
25	東春信用金庫 味美支店
26	東春信用金庫 六軒屋支店
27	東濃信用金庫 小野支店
28	東濃信用金庫 勝川支店
29	東濃信用金庫 高蔵寺支店
30	東濃信用金庫 鷹来支店
31	東濃信用金庫 八田支店
32	東濃信用金庫 不二ガ丘支店
33	東邦ガス株式会社 春日井営業所
34	東洋電機株式会社
35	トヨタホーム株式会社 春日井事業所
36	パナソニック エコシステムズ株式会社
37	レンゴー株式会社 新名古屋工場

※かすがいエコオフィス認定事業所の取組みについては 35 ページをご覧ください。

(3) 地域環境の整備

かすがいシティバス事業

具体的取組み番号 9

【取組み内容等】

公共交通空白地域における昼間の時間帯の高齢者の移動手段の確保を目的として、4路線（東環状線、西環状線、北部線、南部線）で、かすがいシティバスを運行しています。運賃は、200 円の均一運賃となっています。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

かすがいシティバス利用者数

路線	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
東環状線	206,227 人	208,608 人	206,034 人
西環状線	59,220 人	58,279 人	61,720 人
北部線	16,271 人	16,884 人	18,268 人
南部線	35,105 人	36,292 人	38,130 人
合計	316,823 人	320,063 人	324,152 人



かすがいシティバス

次世代自動車の普及促進

具体的取組み番号 11

【取組み内容等】

市では、電気自動車を1台新規購入するなど、公用車への次世代自動車の導入を進めており、平成 30 年度末現在で 41 台導入しています。

また、アースデイ朝宮公園において燃料電池車 MIRAI（愛知県協力）を展示するとともに、緑と花のフェスティバルやエコメッセフェスタ等において電気自動車を展示し、普及啓発に努めました。

次世代自動車導入台数  
(平成 30 年度末)

分類	導入台数
電気自動車	3 台
ハイブリッド車	5 台
天然ガス車	1 台
クリーンディーゼル車	32 台
合計	41 台



電気自動車



燃料電池車の展示  
(アースデイ朝宮公園)

## 第2節 自然を守り自然に親しむ(自然共生社会)

### (1) 自然との共存

#### 希少野生動植物種の保護

具体的取組み番号 57

##### 【取組み内容等】

平成 24 年1月 10 日、市指定希少野生動植物種8種を指定しています。

- 植物： シデコブシ、ササユリ、ヒメカンアオイ
- 動物： カヤネズミ、ヨタカ、ナゴヤダルマガエル、ギフチョウ、ヒメタイコウチ



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

自然環境保全や外来種の問題等について、作成したパンフレットを用いて、緑と花のフェスティバルや春日井まつりエコワールド等の行事で広く周知啓発しました。また、自然環境保全活動推進員が月1回の希少種保護の巡回活動を実施しました。



パンフレット「守りたい春日井の自然」

第1部  
環境基本計画の実施状況

#### 自然環境保全活動推進員

具体的取組み番号 77

##### 【取組み内容等】

自然環境の保全に関する知識の普及や保全活動の推進のため、平成 30 年度は、第6期(平成 29、30 年度)の推進員 28 人で活動しました。

この推進員は、自然環境の保全を推進するリーダーとして、次の役割を担います。

- ① 自然環境の保全に関する普及活動の推進
- ② 自然環境の保全に必要な巡回活動
- ③ 自然環境調査等への協力
- ④ 指定希少野生動植物種の保護啓発の巡回活動

##### 活動内容

- 1 希少種保護の巡回活動 月1回
- 2 意見調整や情報交換のための連絡会議 年6回
- 3 資質向上のためのステップアップ講座 年7回
  - 5月 「ツバメ調査」 7月 「水生生物」
  - 9月 「外来動物」 11月 「ギフチョウ」
  - 1月 「雑木林の整備」 2月 「怪我の予防」
  - 3月 「外来植物」



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



「外来動物」の様子



「雑木林の整備」の様子

【取組み内容等】

持続可能な社会の実現に寄与するため、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議（以下、「PS会議」という。）の市民団体会員により様々な環境保全活動が行われています。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

PS会議の市民団体会員による環境保全活動（平成30年度）

市民団体名	活動内容
かすがい里山自然楽校	潮見坂平和公園内の希少植物の生息地保全整備や、自然体験、観察会などの環境学習のためのフィールド整備を行った。
みろく山麓の自然を守る会	築水池北岸湿地の保全・観察、散策路の管理を行った。
かすがい東部丘陵自然観察会	生き物への関心と生物多様性の大切さを学ぶきっかけづくりとして、アゲハチョウ飼育セットを市内小学校へ無償提供するため、食草（アゲハソウ）の生育管理、増殖を実施した。
環境学習ネットワークグループ	高座小学校や岩成台小学校4年生の校区自然探検を支援するとともに、高座小学校・岩成台小学校・篠原小学校5年生の野外学習をサポートした。
春日井スカウト団協議会	落合公園で開催した「ちびっこ冒険レンジャー大集合」において、ゲームをしながら生活水に関するクイズ等を行い、節水する方法を紹介した。
特定非営利活動法人かすがいネイチャー	高森山にすむニホンリスを調査・保全するため、毎月ニホンリスへの給餌活動や高森山のくるみ苗の植樹や周辺の下草刈りを行い、生態状況を把握した。
かすがいシェアリングネイチャーの会	公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会の基本理念に沿って、市内小学校での野外活動やイベントにおいてネイチャーゲームの指導などを行った。
中部ESD拠点推進協議会	中部大学を中心とし、愛知県で開催されたESD（持続可能な開発のための教育）の勉強会などを行った。
春日井里山保存会	ビオトープ及び周辺の動植物の写真等を掲出し、自然観察会参加者及び散策者等の自然環境学習に寄与した。ビオトープの補修作業を行い施設管理・保全活動を行った。
中部大学 発光生物学研究室	イカや深海の生物などから取り出した発光バクテリアを培養した。それを「光る絵の具」として、光る絵を描くという環境教育プログラムの開発を行った。
特定非営利活動法人ザ・希望	障害者・高齢者等とともに、耕運機による畑の浄化やさつまいもの蔓の植え付けを行った。
たかくらこどもエコクラブ	高座小学校内にて環境学習と自然遊び、エコ工作、庄内川の水質調査とガサガサ体験、少年自然の家でサマーキャンプと自然観察など様々な環境学習及び体験を行った。



ビオトープの環境保全活動  
（春日井里山保存会）



庄内川ガサガサ体験  
（たかくらこどもエコクラブ）

(2) 自然とのふれあい

自然環境学習会

具体的取組み番号 74

【取組み内容等】

自然とふれあう機会の提供と、自然環境の保全に対する理解と関心を深めるため自然環境保全活動推進員が講師となり、自然環境学習会を実施しました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

自然環境学習会(平成 30 年度)

イベント名	開催日	場所	参加者	内容
夏休み自然環境学習会	8月 5日 (日)	落合公園	36人	公園で、身近な自然の大切さを学習し、自然の素材(はっぱなど)を使った工作を実施した。
秋の自然環境学習会 (子ども環境アカデミーと 共同開催)	11月 10日 (土)	潮見坂 平和公園	39人	山林及び竹林で、身近な自然の大切さを学習し、見つけた木の実や木の葉などの自然素材を用いたリース作りを実施した。



夏休み自然環境学習会



秋の自然環境学習会

## 少年自然の家周辺での取組み

具体的取組み番号 75

### 【取組み内容等】

愛知高原国定公園に指定される優れた自然環境に恵まれた少年自然の家周辺において、地域の自然を活かした様々な自然学習を実施しました。(20 イベントで延べ 9,274 人参加。)



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

### 少年自然の家周辺での自然学習(平成 30 年度)




イベント名	開催日等	参加者	内容
わくわく自然ランド	年4回実施	259 人	身近なフィールドである春日井の東部丘陵の魅力と四季折々の自然に触れる体験を4月、7月、11月、2月の年4回実施した。
里山体験(田んぼと森の学校)	年9回実施 各回1泊2日	360 人	米作りに関わる勤労体験や雑木林の手入れ等、里山環境を生かした自然体験を通じて自然の仕組みや自然と人との関わりについて学んだ。
あそびむしくらぶ	年9回実施	281 人	2、3歳児とその保護者を対象として、年間を通じて身近な自然環境に親しんだ。
自然学校	年5回実施	92 人	地域特有の湿地と生物の観察や雑木林の手入れを通して里山の生物多様性とその保護の必要性を学んだ。
きらめきキャンプ ホテル&カヌー	6月9日 ~6月10日	34 人	家族でテント泊や野外炊事、ナイトハイク、カナディアンカヌー、パンづくりを楽しんだ。
冬のファミリーキャンプ	12月15日 ~12月16日	61 人	親子でハイキング、野外炊事、キャンプファイア等を楽しんだ。
築水池カヌー体験	7月21日・22日	54 人	カヌーでしか味わえない景色を楽しむとともに水鳥の視点で周辺の森林を観察した。
野外活動・自然体験 指導者講座	5月12日 9月8日 9月9日 10月20日	43 人	5月12日 プロジェクト・ワイルドのエducator講座 9月8,9日 自然体験活動の理念、自然の仕組み、自然を知る参加者を知る、自然体験活動の基礎、ナイトハイク 他 10月20日 安全対策、普通救命救急 他
初めて挑戦!アウトドア	年3回実施 各回1泊2日	139 人	親元を離れての自然体験、共同生活体験を通して自然に親しみ、新たな仲間づくりとなった。
サマーキャンプ 2018	8月11日 ~8月15日	38 人	自然体験を通して「生きる力」を育むことを目的とし、自然の仕組みや命(食べ物)の意味を知り、「人と自然のつながり」について理解した。
大人の里山歩き	年8回実施	135 人	東部丘陵の四季折々の自然を感じながら登山を楽しんだ。
万葉の花めぐり	6月22日 9月28日	33 人	万葉集の和歌を楽しみ歌にある植物を観察した。
自然体験プログラム (夏季・冬季)	夏季7月21日 ~8月31日 冬季12月23日 ~2月11日	2,606 人	夏季 森の探検ゲーム・合同キャンプファイア・ナイトハイクと天体観測 冬季 餅つき・キャンドルづくり・草木染め・天体観測 ・バードウォッチング・みろく山トレッキング(ガイド付き)
環境教育プログラム	随時	1,070 人	プロジェクト・ワイルドのアクティビティで野生生物の生態や行動を通じて自然環境について考え学んだ。
ネイチャーガイド× トレッキング	随時	2,665 人	ガイドと一緒に歩き、四季折々の自然を感じながらトレッキングを楽しんだ。
夜間プログラム	随時	1,055 人	ガイドとともにナイトハイクを実施した。
出張自然講座	随時	220 人	申込者のニーズにあわせた自然講座を実施した。
みろくの森自然観察会	年5回実施	83 人	春日井自然友の会により都市緑化植物園周辺の植物の観察会を実施した。
ハチミツしぼり体験	5月19日	36 人	ミツバチの観察や蜂蜜搾りをした。
かすがい子ども防災 キャンプ	9月1日 ~9月2日	10 人	災害時に必要な技術をキャンプから学んだ。



## 第3節 ごみを減らし資源を有効に活用する(資源循環社会)

### (1)ごみの減量化と3Rの推進

エコ先案内人		具体的取組み番号 83																																																					
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>ごみの減量やリサイクル、家庭でのエコ生活などについて、親子を対象に環境紙芝居やエコクイズ、エコ工作、エコかるたを通して、楽しく分かりやすく案内する「エコ先案内人」を実施しました。毎月1回、日曜日の午前10時から午後3時まで、クリーンセンターの環境啓発施設エコムッセにおいて開催し、延べ154人の参加がありました。</p> <p>(平成30年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月8日(日)</td><td>15人</td><td>まつぼっくりのけん玉</td></tr> <tr><td>2</td><td>5月13日(日)</td><td>10人</td><td>母の日の花束</td></tr> <tr><td>3</td><td>6月10日(日)</td><td>28人</td><td>絵合わせ</td></tr> <tr><td>4</td><td>7月8日(日)</td><td>16人</td><td>タラヨウのエコ宣言</td></tr> <tr><td>5</td><td>8月12日(日)</td><td>5人</td><td>六角パズル</td></tr> <tr><td>6</td><td>9月9日(日)</td><td>13人</td><td>木の実とハーブと貝殻の壁掛</td></tr> <tr><td>7</td><td>10月14日(日)</td><td>27人</td><td>森のトロコ人形</td></tr> <tr><td>8</td><td>11月11日(日)</td><td>5人</td><td>廃油でエコキャンドル</td></tr> <tr><td>9</td><td>12月9日(日)</td><td>11人</td><td>木の実とハーブと貝殻のアート</td></tr> <tr><td>10</td><td>1月13日(日)</td><td>15人</td><td>昔遊びをしよう</td></tr> <tr><td>11</td><td>2月3日(日)</td><td>4人</td><td>折り紙のおひな様</td></tr> <tr><td>12</td><td>3月10日(日)</td><td>5人</td><td>消しゴムこま</td></tr> </tbody> </table>			No.	開催日	参加者	内容	1	4月8日(日)	15人	まつぼっくりのけん玉	2	5月13日(日)	10人	母の日の花束	3	6月10日(日)	28人	絵合わせ	4	7月8日(日)	16人	タラヨウのエコ宣言	5	8月12日(日)	5人	六角パズル	6	9月9日(日)	13人	木の実とハーブと貝殻の壁掛	7	10月14日(日)	27人	森のトロコ人形	8	11月11日(日)	5人	廃油でエコキャンドル	9	12月9日(日)	11人	木の実とハーブと貝殻のアート	10	1月13日(日)	15人	昔遊びをしよう	11	2月3日(日)	4人	折り紙のおひな様	12	3月10日(日)	5人	消しゴムこま	 <p>QRコードを読み込んで 春日井市HPへアクセス</p>
No.	開催日	参加者	内容																																																				
1	4月8日(日)	15人	まつぼっくりのけん玉																																																				
2	5月13日(日)	10人	母の日の花束																																																				
3	6月10日(日)	28人	絵合わせ																																																				
4	7月8日(日)	16人	タラヨウのエコ宣言																																																				
5	8月12日(日)	5人	六角パズル																																																				
6	9月9日(日)	13人	木の実とハーブと貝殻の壁掛																																																				
7	10月14日(日)	27人	森のトロコ人形																																																				
8	11月11日(日)	5人	廃油でエコキャンドル																																																				
9	12月9日(日)	11人	木の実とハーブと貝殻のアート																																																				
10	1月13日(日)	15人	昔遊びをしよう																																																				
11	2月3日(日)	4人	折り紙のおひな様																																																				
12	3月10日(日)	5人	消しゴムこま																																																				
 <p>環境紙芝居</p>																																																							
 <p>私のエコ宣言</p>																																																							

環境美化・ごみ減量啓発推進事業		具体的取組み番号 87
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>家庭からのCO<sub>2</sub>排出量分かる「環境家計簿」と「資源・ごみ出しカレンダー」を組み合わせた「環境カレンダー」と、資源・ごみの出し方を詳しく掲載した「資源・ごみの出し方便利帳」を作成し、広く市民に配付することにより、資源分別、ごみの減量や省エネが地球温暖化防止につながる取組みであることを啓発しました。また、平成30年3月に導入したごみ収集日や分別方法の検索機能などを有するスマートフォン用ごみ分別アプリにより、情報提供を充実させました。さらに、春日井市ごみ処理基本計画を改定し、「ともに取組み次世代へつなぐ循環都市 かすがいい」を基本理念とするとともに、各種計画目標を定めました。</p>		
 <p>環境カレンダー</p>	 <p>ごみ分別アプリ「さんあ〜る」</p>	 <p>QRコードを読み込んで 春日井市HPへアクセス</p>

## (2)ごみの資源化の推進

資源分別収集					具体的取組み番号 98	
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>市内の約 7,300 か所に設置されたごみステーションで、家庭から出た飲料缶・ガラスびん・ペットボトル・新聞紙・雑誌・段ボール・古着・牛乳パックを平成 14 年 10 月から、プラスチック製容器包装や金属類を平成 25 年4月から資源として分別収集しています。</p> <p>収集にあたっては、ごみ・資源の分別の徹底と排出マナーの向上を目的に、平成 19 年2月から指定袋制度を導入しています。</p> <p>資源は、ごみステーションでの収集をはじめ、子ども会や学校などの資源回収団体の活動による回収や、クリーンセンターでの処理によるもの等があり、資源の分別は新聞、雑誌など 11 種類の分別回収を実施しています。</p>						
 <p>QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>						
資源回収状況						
	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	市収集	資源回収団体	市収集	資源回収団体	市収集	資源回収団体
新聞	3,073.97 t	1,654.28 t	2,222.04 t	1,486.18 t	1,865.32 t	1,267.08 t
雑誌 (雑誌のみを含む)	2,185.26 t	577.61 t	1,902.12 t	551.02 t	1,877.97 t	519.54 t
段ボール	1,598.38 t	342.12 t	1,538.78 t	324.55 t	1,477.44 t	295.35 t
古着	492.52 t	66.91 t	474.03 t	65.59 t	480.81 t	62.49 t
牛乳パック	44.44 t	19.13 t	40.52 t	19.90 t	40.37 t	18.42 t
飲料缶	293.73 t	41.33 t (アルミ缶)	271.21 t	39.17 t (アルミ缶)	259.96 t	36.88 t (アルミ缶)
ガラスびん	1,718.09 t	0 t	1,646.39 t	0 t	1,593.10 t	0 t
ペットボトル	759.97 t	—	768.04 t	—	785.75 t	—
天ぷら油	12.27 t	—	11.63 t	—	11.67 t	—
プラスチック製 容器包装	2,690.18 t	—	2,575.53 t	—	2,607.94 t	—
金属類 (小型家電を含む)	430.29 t	—	427.26 t	—	664.95 t	—
合計	13,299.10 t	2,701.38 t	11,877.55 t	2,486.41 t	11,665.28 t	2,199.76 t

焼却灰の活用				具体的取組み番号 101
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>ごみ処理施設(クリーンセンター)では、ごみを燃やしてできる焼却灰をセメント工場に送り、セメント原料として有効活用に努めました。</p> <p>なお、平成 29 年4月より灰溶融炉を休止したため、溶融スラグ及び溶融メタルの生産がなくなりました。</p>				
焼却灰等の有効活用				
種類	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
セメント原料	1,109.36 t	2,994.93 t	2,996.73 t	
 <p>セメント工場</p>		 <p>セメント</p>		 <p>QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>

## 第4節 市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める(連携・協働)

### (1)環境市民の育成

市民環境アカデミー						具体的取組み番号 181
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>環境について幅広い知識を有し、環境への取組みを実践できるリーダー的な役割を担う人材を育成するため、地球温暖化、自然環境の保全、生物多様性、環境活動など幅広く環境について、講義やワークショップなどを通じて学べる全6回講座を実施しました。</p> <p>平成30年度は44の方が受講し、その内、全6回中5回以上出席した32人の方へ修了証を交付しました。</p>						
						 <p>QRコードを読み込んで 春日井市HPへアクセス</p>
市民環境アカデミー講義内容(平成30年度)						
No	講座名	講師	開催日	場所	参加者	内容
1	北極・南極から見た気候変動・地球温暖化	国立極地研究所 名誉教授 山内 恭	8月18日(土)	文化フォーラム春日井	38人	北極・南極での経験や観測結果を通じて、地球温暖化の現状や仕組みについて学んだ。脱炭素に向け、一人ひとりができることは何かについて考えた。
2	チョウ類のモニタリング調査体験と自然観察	かすがい東部丘陵自然観察会会長 高橋匡司	10月12日(金)	都市緑化植物園・築水の森	34人	地域の環境保全活動の体験として春日井の過去のチョウ類のデータから自然度合指数の算定を行った。その後、築水池周辺の散策を行い自然と触れ合った。
3	碧南火力発電所見学エコツアー	中部電力株式会社	11月16日(金)	中部電力(株)碧南火力発電所	36人	国内最大の石炭火力発電所の見学を通じて、身近なエネルギーである電気を生み出すために大量の石炭が使われていることを目の当たりにし、改めて省エネルギーの大切さを学んだ。
4	サボテンが地球を救う!?	中部大学 応用生物学部講師 堀部貴紀	12月1日(土)	中部大学	36人	春日井市と関わりの大きいサボテンが強靱な環境ストレス耐性を持っており、食糧や砂漠化、地球温暖化などの環境問題を解決する可能性があると学んだ。
5	淡水域の生物多様性を守るためには?	名城大学 理工学部 准教授 谷口義則	1月18日(金)	名城大学 農学部 附属農場	36人	近年、多くの生物種が失われている現状やその要因が人間活動によるものであることを知るとともに、淡水域について河畔草本が生息域の確保に重要であることを学んだ。
6	私たちのための、私たちによる環境まちづくり～学びを行動に～	NPO 法人 ボランティアネイバーズ 主任研究員 新海洋子	2月8日(金)	市役所	35人	これまでの講座内容を振り返り学んだことを再確認するとともに、グループワークを通して、一人ひとりが環境のためにやりたいこと・やれることを考えた。



講義(第1回)



フィールドワーク(第2回)



火力発電所エコツアー(第3回)

## 青空教室

具体的取組み番号 184

### 【取組み内容等】

ごみの減量と分別意識を培うため、小学校教師による社会科研究会と協働で作成した、社会科副読本「くらしとごみ」を市立小学校全校(37校)の4年生に配付しました。

また、市職員がごみ処理の状況、ごみの減量、リサイクルの必要性などを説明するとともに、ごみ収集車にごみを積み込む体験をしてもらう「青空教室」を、小学4年生の社会科総合学習として実施しました。(小学校 37校 2,901人)

さらに、園児のごみに対する興味関心を高め、子どもを通して家庭にごみの分別等を周知するため、保育園等においても「青空教室」を実施しました。(公・私立保育園 36園 私立幼稚園 14園 2,210人)



青空教室(貴船保育園)



副読本「くらしとごみ」

## 出前講座

具体的取組み番号 185

### 【取組み内容等】

地球温暖化防止の取組みを行うきっかけづくりを目的として、地球温暖化の最新情報やその対策について、NPO法人気象キャスターネットワークの協力のもと、気象予報士を講師に招き、市内小学校(3校、7クラス)で出前講座を開催しました。また、環境省の地球温暖化防止コミュニケーター養成講座を修了した市職員(延べ5名)による出前講座を市内小学校放課後なかよし教室(3校)で開催しました。「2100年未来の天気予報」の動画や模型を使った実験を通じて地球温暖化について学び、自分たちにできることを考えました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

### 出前講座(平成 30 年度)

学校名	講師	開催日	学年等	参加者
高森台小学校	NPO 法人気象キャスターネットワーク・気象予報士 早川 敦子、岩名 美樹、岡安 里見	9月 10 日(月)	5年生 (2クラス)	53 人
押沢台小学校	NPO 法人気象キャスターネットワーク・気象予報士 多森 成子	9月 25 日(火)	5年生 (1クラス)	33 人
春日井小学校	NPO 法人気象キャスターネットワーク・気象予報士 岩名 美樹、岡安 里見	9月 25 日(火)	5年生 (4クラス)	124 人
高座小学校	市職員	2月 18 日(月)	なかよし教室	27 人
柏原小学校	市職員	2月 22 日(金)	なかよし教室	22 人
鳥居松小学校	市職員	2月 25 日(月)	なかよし教室	40 人



気象予報士による出前講座



市職員による出前講座

【取組み内容等】

新規事業として、子ども(小学4～6年生)とその保護者を対象に、見学や体験を交え楽しみながら家族ぐるみで環境について学び、考えるきっかけづくりとするため全5回の連続講座を実施しました。

平成30年度は20組41名の方が受講し、環境への取組みを率先して実施するエコファミリーの育成を図ることができました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

子ども環境アカデミー(平成30年度)

No	講座名	講師	開催日	場所	参加者	内容
1	「夏休み親子工作教室」～資源を活かして壁掛け時計を作ろう～	村田 祐一郎	7月29日(日)	エコメッセ 春日井	16組34名	身近にあるダンボールなどの材料を使い、各々の個性あふれる壁掛け時計を作り、楽しみながら資源の有効活用やリサイクルの大切さを学んだ。
2	「川越火力発電所見学エコツアー」～電気の生まれる瞬間を見に行こう～	中部電力株式会社	8月25日(土)	中部電力(株)川越火力発電所	15組30名	手回し発電機などを使った発電実験や発電所内部を見学した。実験を通して電発の仕組みを学び、見学や体感することで電気を生み出す大変さを知り、省エネの大切さを理解した。
3	「ごみ処理の最前線」～身近な衛生環境について考えよう～	市職員	10月13日(土)	エコメッセ 春日井	11組24名	ごみ収集や、ごみ・資源の分別方法などを、映像を見ながら学んだ。改めて分別方法を学ぶことで、その大切さを理解した。
4	「秋の自然環境学習会」～春日井の自然と触れ合おう～	自然環境保全活動推進員	11月10日(土)	潮見坂平和公園	11組22名	潮見坂平和公園の山林や竹林の中で自然観察を行った。その後、自ら採集した枝などの自然素材を使用してリースを作り、自然と親しんだ。
5	「お天気お姉さんと学ぶ地球温暖化」～未来の天気と私たちにできること～	気象予報士 岩名美樹	12月8日(土)	グルッポ ふじとう	12組25名	ペットボトルを使った二酸化炭素の吸収実験やクイズを交え、地球温暖化の現状や今後の予測、一人ひとりの行動の大切さを学んだ。未来の地球のために自分が取り組む目標を書いたマグネットシートを作製した。



段ボール工作(第1回)



自然観察(第4回)



気象予報士講座(第5回)

【取組み内容等】

春日井まつりにおいて、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議を始めとする市民団体、事業者、市等が協働でブースを出展し、環境に関する啓発を行う「エコワールド」を開催しました。平成 30 年 10 月 20 日(土)、21 日(日)の2日間で延べ 23,636 人の方に参加いただきました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

エコワールド出展団体(平成 30 年度)

	市民団体等	内容
1	かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議	間伐材を用いた鳥のペンダントづくり パネル展示による市民団体活動紹介 在来種及び外来種等の生き物の展示
2	春日井スカウト団協議会	生活水、使用量などを低学年用に紹介
3	かすがいシェアリグネイチャーの会	野菜の色や匂を学ぶゲーム
4	サービス・トゥー・ネイチャー・春日井	丸太(間伐材)をノコギリで切る体験と工作
5	中部大学 ESD エコマネーチーム	SDGs(持続可能な開発目標)を学ぶゲーム
6	愛知工業大学 総合工学研究所	手づくりEVカーの乗車体験、エコカーの展示
7	中部大学 発光生物学研究室	発光生物の展示と観察 発光バクテリアを使った光のお絵かき
8	名古屋工業大学 ソーラーカー部	ソーラーカーの展示、ソーラーラジコンレース
9	パナソニックエコシステムズ株式会社	環境絵画コンクールの展示、LED ランタンと風車工作
10	株式会社トヨタレンタリース名古屋	PHV(プラグインハイブリッド車)の展示 コイン落としゲーム
11	環境政策課	地球温暖化に関する写真展示 各国のエネルギー使用量を重さに換算したカバンの展示
12	環境保全課・環境分析センター	合併処理浄化槽普及啓発と指定希少種のパネル展示 科学実験(インクの不思議実験)
13	ごみ減量推進課	ごみの減量や分別についての展示 ごみとして出されたバケツ等をリサイクルした太鼓の展示
14	清掃事業所	英字新聞でのエコバック作り
15	多治見市環境課	多治見市の暑さ対策についての展示



エコワールド風景



愛工大総合工学研究所のEVカート試乗

## ささえ愛センターでの活動・交流

具体的取組み番号 187

### 【取組み内容等】

市民活動支援センター(ささえ愛センター)では、市民活動団体やボランティアグループなど、市民が自主的・自発的に行っている公益的な活動を支援するとともに、市民との協働によるまちづくりを推進することを目的として、市民活動に関する相談、情報の発信などを行っています。

平成30年度は、197団体が登録しており、市民活動を行う人材の育成や団体の支援のため、12回のイベント・講座を行いました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



ささえ愛センターまつり

## エコmesseフェスタ

具体的取組み番号 214

### 【取組み内容等】

環境やリサイクルに関する展示及び来場者が参加できる催しを通して、環境や3R(Reduce、Reuse、Recycle)を啓発するとともに、啓発施設としてのエコmesse春日井をアピールするため、エコmesse春日井において、クリーンセンターバックヤードツアーやごみ分別クイズ、フリーマーケット、エコ料理教室等の体験学習を開催し、平成30年11月18日(日)に3,918人の方に参加いただきました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



フリーマーケットの様子

## (2) 市民協働の推進

### かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

具体的取組み番号 195

#### 【取組み内容等】

市民、事業者、市の三者協働による環境まちづくりを推進する組織として、平成 14 年 12 月に「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(以下、「PS会議」という。)」が設立され、30 年度末の会員数は市民 35 人・市民団体 12 団体・事業者 6 社となっています。

PS会議は、市の環境に関するイベントに参加・共催するとともに、市民や市民団体の連携の輪を広げるため、様々な自主イベントを開催しました。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス

#### PS会議の自主イベント(平成 30 年度)

イベント名	開催日	場所	参加者	内容
藤前干潟清掃活動と干潟の観察会	5月26日(土)	藤前干潟	29人	「春の藤前干潟クリーン大作戦 2018」に参加し、ペットボトルや空き缶など大量のごみを回収した。その後干潟に入り、現地ガイドのもと、トビハゼやチゴガニなど干潟にしか生息しない多様な生物とふれあった。
庄内川アダプトと水生生物調査	6月3日(日)	庄内川右岸河川敷(高蔵寺グラウンド)	56人	庄内川河川敷の清掃活動では、燃えるごみを5袋、燃えないごみを1袋回収した。また、環境学習活動として水生生物調査と水質検査を行い、市民の身近な庄内川にはカワゲラやトビケラ類などが生息し、水質調査の結果は「ややきれいな水」であることを学習した。
ホタルの観察会	6月9日(土)	少年自然の家	56名	中部大学発光生物学研究室 大場裕一准教授よりホタルの生態等について、春日井里山保存会の三宅勝次氏から里山保存活動の大切さについて講義をいただいた。その後、ビオトープで水生生物とホタルの観察を行った。
答志島奈佐の浜海岸清掃	10月14日(日)	三重県鳥羽市答志島	5人	22世紀奈佐の浜プロジェクト実行委員会が主催する「答志島奈佐の浜海岸清掃」に参加し、庄内川が流れ込む伊勢湾の入り口に位置する答志島で、流木や廃タイヤ、ペットボトルなどのごみを回収した。
とうしゅん エコ・ウォーク 2018	11月18日(日)	味美駅から二子山公園	70人	東春信用金庫と協働で、味美駅から二子山公園まで清掃をしながら秋の自然に触れた。
親子で楽しくエコ・クッキング	12月26日(水)	東邦ガス(株)クッキングサロン春日井	20人	東邦ガス(株)の協力のもと、子どもとその保護者を対象にエコ・クッキング教室を開催し、環境のことを考えた「買い物・料理・片付け」について学んだ。
冬のエコツアー「楽天の森で山の遊びをたのしもう!!」	2月2日(土)	みのかも健康の森(岐阜県美濃加茂市)	48人	豊かな森を育むための「間伐」について学び、実際にノコギリを使って間伐を体験した。また、間伐材を使って「木のスプーン」を作ったり、「しいたけの菌打ち体験」を行ったり、自然の恵みを学んだ。
河川の清掃活動と新聞紙を使った凧づくり	3月23日(土)	熊野グラウンド	30人	河川敷の清掃活動を実施した。その後、自然に触れ合う環境学習として、新聞紙と竹ひごを使い凧づくり、身近なもので簡単に出来る遊びを楽しんだ。



水生生物調査



ホタルの観察会



冬のエコツアー



# 第2部 地球温暖化対策実行計画の実施状況

## 第1章 地球温暖化対策実行計画の概要

本市は、平成 24(2012)年3月に「春日井市地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化対策に取り組んできましたが、計画策定後の温室効果ガス排出量の推移や社会情勢の変化を踏まえ、平成 31(2019)年3月に計画を改定しました。

### 数値目標

基準年度：平成 25(2013)年度 目標年度：令和 12(2030)年度

部門	削減目標	考え方
総量	26%	市内の温室効果ガス総排出量の削減を目指す
民生家庭部門	40%	市内の民生家庭部門から排出される温室効果ガス排出量の削減を目指す
産業部門	13%	市は、愛知県の目標達成に向けて、愛知県が実施する施策に 協調、補完し、取組みを実施 (愛知県全体での目標達成を目指す)
民生業務部門	49%	
運輸部門	28%	

### 施策・取組の基本方針

#### 家庭部門への取組みの重視

本市は温室効果ガス排出量に占める民生家庭部門の割合が愛知県と比較すると高くなっています。生活の基盤となる家庭での取組み意識を高めることで他の部門への波及効果が期待できるため、家庭部門への取組みを重点的に推進します。

#### 国・愛知県との協調・連携の促進

取組みの高度化・効率化・多様化を図るために、本市が独自に行う取組みの他、特に産業部門、民生業務部門、運輸部門について、国・愛知県の施策に協調・連携し、取組みを推進します。

#### 緩和策と適応策の推進

温室効果ガス排出量の削減に向けての「緩和策」を引き続き実施する他、既に起きている気候変動の影響(熱中症や洪水など)に対処するための「適応策」について、取組みを推進します。

#### 【緩和と適応】

気温上昇を抑えるために温室効果ガスの排出量を減らす「緩和策」とともに、熱中症搬送者数や洪水発生の増加など、既に起きている気候変動への影響に対処するための「適応策」の双方が重要です。

温室効果ガスを減らす

#### 「緩和策」

【例】

- ・再生可能エネルギーの利用促進
- ・次世代自動車の導入促進
- ・省エネ行動の実践 等

気候変動の影響に備える

#### 「適応策」

【例】

- ・熱中症対策
- ・洪水、内水対策
- ・ヒートアイランド等対策 等

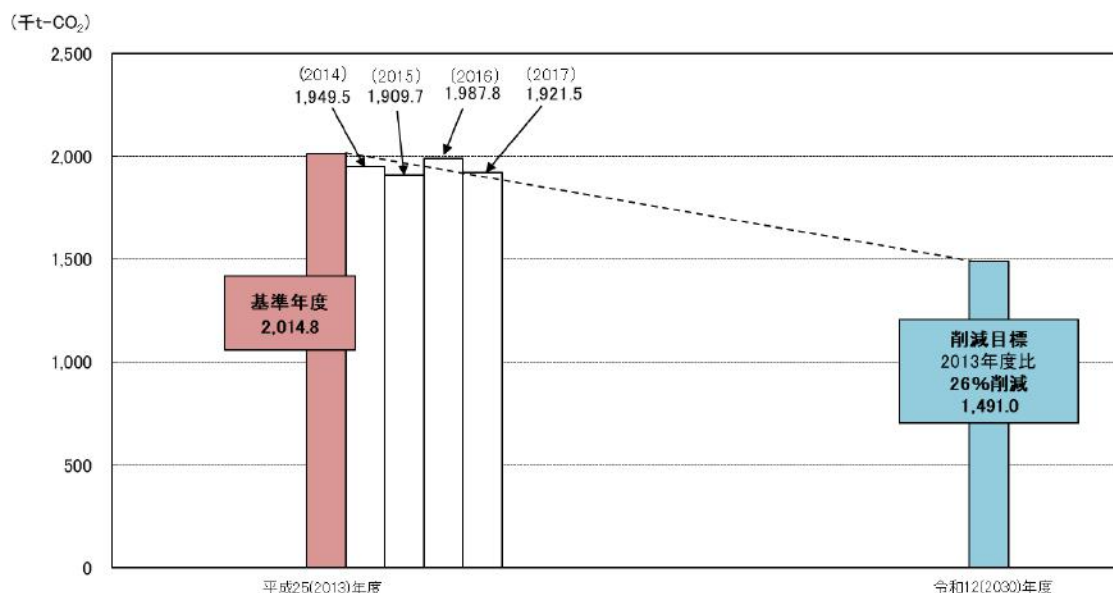
## 第2章 温室効果ガス排出量

### 第1節 温室効果ガス排出量の推移

○春日井市の温室効果ガス排出量の推移と部門別内訳

(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

部門名	年度	平成25年度 (2013) (基準年度)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	増減率 (基準年度比)	増減率 (前年度比)
産業部門		750.1	754.7	727.3	799.7	770.9	2.8%	-3.6%
民生家庭部門		336.9	316.2	299.8	310.5	292.0	-13.3%	-5.9%
民生業務部門		475.8	420.4	422.7	410.6	390.3	-18.0%	-5.0%
運輸部門		422.1	428.0	431.5	438.1	440.0	4.2%	0.4%
廃棄物部門		20.8	21.0	19.1	19.5	19.3	-7.0%	-0.8%
二酸化炭素排出量		2,005.6	1,940.3	1,900.3	1,978.4	1,912.5	-4.6%	-3.3%
メタン排出量		1.7	1.7	1.7	1.7	1.5	-9.8%	-10.4%
一酸化二窒素排出量		7.5	7.6	7.7	7.7	7.5	-0.7%	-3.2%
温室効果ガス排出量合計		2,014.8	1,949.5	1,909.7	1,987.8	1,921.5	-4.6%	-3.3%



○【参考】愛知県の温室効果ガス排出量

(単位 千t-CO<sub>2</sub>)

部門名	年度	平成25年度 (2013) (基準年度)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	増減率 (基準年度比)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	産業部門	40,153	39,827	39,512	39,975	-0.4%
	民生家庭部門	8,584	8,000	7,376	7,465	-13.0%
	民生業務部門	12,072	11,336	10,881	11,175	-7.4%
	運輸部門	13,327	12,941	13,387	13,400	0.5%
	エネルギー転換部門 <sup>※1</sup>	2,435	2,341	2,303	2,364	-2.9%
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		2,225	2,186	2,168	2,233	0.4%
二酸化炭素排出量		78,796	76,631	75,627	76,612	-2.8%
メタン排出量		450	429	424	408	-9.3%
一酸化二窒素排出量		978	939	917	918	-6.1%
フロン類排出量 <sup>※1</sup>		2,158	2,380	2,539	2,863	32.7%
温室効果ガス排出量合計		82,384	80,379	79,508	80,801	-1.9%

※ 四捨五入の関係で、合計値が一致しないことがあります。

※1 本市の計画では、エネルギー転換部門及びフロン類排出量は対象としていない。

## 第2節 温室効果ガス排出量増減の主な要因

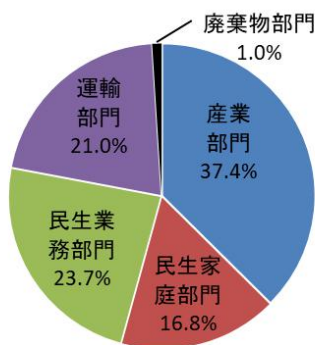
本市の平成 29 年度温室効果ガス排出量は、1,921.5 千 t-CO<sub>2</sub> であり、前年度比 3.3%の減少、基準年度(平成 25 年度)比では 4.6%の減少となっています。

前年度から排出量が減少した要因は運輸部門を除く部門で省エネ等によりエネルギー使用量が減少したためと考えられます。

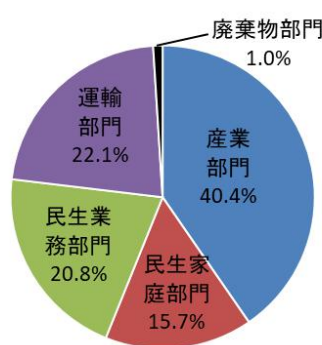
基準年度から排出量が減少した要因は排出量の約4割を占める民生部門(家庭・業務)について省エネ等によりエネルギー使用量が減少したためと考えられます。

なお、電力の二酸化炭素排出係数は、基準年度の 0.513kg-CO<sub>2</sub>/kWh から、0.476 kg-CO<sub>2</sub>/kWh と減少しています。

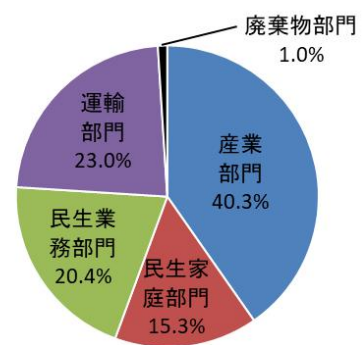
### ○部門別二酸化炭素排出量の割合



平成 25 (2013) 年度



平成 28 (2016) 年度



平成 29 (2017) 年度

#### 産業部門 【基準年度比 2.8%増】

産業部門の大半を占める製造業において、製造品出荷額等の増加に伴う生産活動の活性化によりエネルギー使用量が増加したため。

#### 民生家庭部門 【基準年度比 13.3%減】

節電や省エネに対する市民の取組みによりエネルギー使用量が減少したため。

#### 民生業務部門 【基準年度比 18.0%減】

節電や省エネに対する事業者の取組みによりエネルギー使用量が減少したため。

#### 運輸部門 【基準年度比 4.2%増】

自動車保有台数が増加しており、中でも排出量の多い貨物車、特種車(救急車、ブルドーザーなど)が増加したため。

#### 廃棄物部門 【基準年度比 7.0%減】

ごみの減量化、資源の有効利用、分別回収に努めたため。

### 第3章 主な取組み

市民、事業者、市が共通の目標を持ち、その達成に向けた地球温暖化対策を推進するため、温室効果ガス排出量の削減に向けての「緩和策」やすでに起きている影響へ対処する「適応策」の取組みを行っています。平成30年度に実施した主な取組みは次のとおりです。

#### 第1節 緩和策（温室効果ガス削減に向けた取組み）

##### (1)再生可能エネルギーの利用促進



<b>住宅における太陽光発電システムの導入支援 住宅における地球温暖化対策機器の導入支援</b>	基本施策Ⅰ-1 基本施策Ⅱ-1
<b>【取組み内容等】</b> 14 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 119)をご覧ください。	

<b>公共施設における太陽光発電システム等の導入促進</b>	基本施策Ⅰ-1
<b>【取組み内容等】</b> 15 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 120)をご覧ください。	

##### (2) 市民・事業者の活動促進

<b>COOL CHOICE の普及啓発</b>	基本施策Ⅱ-2
<b>【取組み内容等】</b> 16 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 112)をご覧ください。	

<b>エコライフ DAY の普及啓発</b>	基本施策Ⅱ-2
<b>【取組み内容等】</b> 17 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 180)をご覧ください。	

<b>CO<sub>2</sub>の見える化の促進</b>	基本施策Ⅱ-2
<b>【取組み内容等】</b> 電気、ガスなどの使用量を削減することは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )の排出量の削減につながります。 毎年、市民に配布する「環境カレンダー」に電気、ガス等の使用量からCO <sub>2</sub> の排出量を簡単に計算し、CO <sub>2</sub> の排出量を「見える化」することができる「環境家計簿」を掲載し、省エネ意識の高揚を図りました。	
 <p style="text-align: center;">環境家計簿</p>	 <p style="text-align: center;">QRコードを読み込んで 春日井市HPへアクセス</p>

【取組み内容等】

節電や節水、ごみの減量化、次世代自動車の導入など環境に配慮した取組みを実施している事業所を応援するため、「かすがいエコオフィス認定制度」を設けています。

「かすがいエコオフィス」に認定されると、認定証と認定ステッカーが交付され、環境活動のPRに活用できるほか、「エコオフィスかすがい」のロゴマークを名刺やチラシ等に印刷して使用することができます。また、環境に配慮した取組みを行う事業所として市ホームページで紹介しています。平成30年度末に認定されている「かすがいエコオフィス」は62事業所です。

また、エコオフィス認定事業所を対象に二酸化炭素排出削減にも繋がるエコドライブ講習会(詳細は36ページ)を開催し、エコドライブが燃費の削減や安全運転に繋がることを学びました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス



認定証



認定ステッカー

環境学習講座の実施

【取組み内容等】

- ・ 市民環境フォーラム:13 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 119)をご覧ください。
- ・ エコライフセミナー:14 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 119)をご覧ください。
- ・ 市民環境アカデミー:25 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 181)をご覧ください。
- ・ 出前講座:26 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 185)をご覧ください。
- ・ 子ども環境アカデミー:27 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 185)をご覧ください。
- ・ エコワールド:28 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 185)をご覧ください。
- ・ エコメッセフェスタ:29 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 214)をご覧ください。

### 【取組み内容等】

自動車の利用にかかる二酸化炭素の排出量の削減に向け、市内自動車学校でエコドライブ講習会を開催しました。

教習車で通常走行を行ったのち、「最初の5秒でゆったり時速 20kmへ到達する、“ふんわりアクセル”」などのエコドライブの方法を学び、再び教習車でエコドライブ実践走行を行い燃費を比較しました。

多くの参加者がエコドライブ実践走行により燃費が改善し、効果を実感することができました。

また、春日井警察署による交通安全講話を行い、エコドライブが地球温暖化対策だけでなく交通安全にもつながることを学びました。

#### エコドライブ講習会(平成 30 年度)

開催日	参加者	内容
11月29日(木)	12人 (かすがいエコオフィス認定事業所従業員)	・通常走行 ・エコドライブ術講話 ・エコドライブ実践走行
11月30日(金)	12人 (市民環境アカデミー修了者・受講者)	・交通安全講話(春日井警察署) ・診断結果発表



エコドライブ術講話の様子



教習車での走行の様子

## 事務事業編により取組みを実施

### 【取組み内容等】

市は、自らの事務・事業から発生する温室効果ガスの削減に向け春日井市役所地球温暖化対策行動指針(事務事業編)に基づき、各種取組みを推進しています。

平成 28～30 年度にかけ、衛生プラント(し尿処理施設)にて汚泥脱水機の更新、焼却炉の改造や処理工程の見直し等の「基幹的設備改良工事」を行いました。

一連の工事により、施設の延命化が図られ、処理効率も向上したことにより、燃料消費量の削減や、二酸化炭素の排出量を約 20%削減することができました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス



汚泥脱水機



焼却炉

### (3) 地域環境の整備及び改善

#### レンタサイクルの利用促進

基本施策Ⅲ-1

##### 【取り組み内容等】

放置自転車を活用した自転車を市内7か所に計 33 台設置し無料で貸し出しました。

##### レンタサイクル設置場所(平成 30 年度末)

	設置場所	台数
1	市役所正面玄関	6台
2	JR 春日井駅北口自転車等駐車場	13台
3	器のおおさわ林商店	2台
4	中央公民館	2台
5	レディヤンかすがい	2台
6	総合福祉センター	2台
7	JR 勝川駅東自転車等駐車場	6台



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



レンタサイクル

#### 次世代モビリティの活用

基本施策Ⅲ-1

##### 【取組み内容等】

多様な移動手段の確保を目的に平成 31 年1月～2月において、市と名古屋大学が連携し、高蔵寺ニュータウン全域を舞台に「相乗りタクシー」などの実証実験を実施しました。

相乗りタクシーとボランティア輸送の実証実験では、196名のモニターが登録し、ボランティアドライバー8名、春日井市内タクシー組合のタクシー事業者5社が輸送に参加し、計80件の輸送がありました。

また、藤山台地区内で、電動で自動走行する「ゆっくりカート」2台を活用した実証実験を行い、地区内の4つのルート(計4.5km)を低速度で走行しました。

「相乗りタクシー」や電動の「ゆっくりカート」は、新たな移動手段の確保の他、二酸化炭素排出量の削減にもつながることから、今後も実証実験を推進していきます。



QRコードを読み込んで  
春日井市HPへアクセス



相乗りタクシー



ゆっくりカート

【取組み内容等】

家庭でできる地球温暖化対策や節電対策、ヒートアイランド対策として有効な「緑のカーテン」を普及啓発するため実演を交えたゴーヤの育成方法を学ぶ「緑のカーテン育成講座」を実施しました。

また、広く市民に普及啓発するため、公共施設 84 施設に緑のカーテンを設置する他、各種イベント実施の際にも育成方法のパンフレットを設置しました。



QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス

緑のカーテン育成講座(平成 30 年度)

開催日	場所	参加人数
5月18日(金)	高蔵寺ふれあいセンター	25人
5月19日(土)	坂下公民館	23人
5月25日(金)	鷹来公民館	11人
5月26日(土)	西部ふれあいセンター	27人



緑のカーテン育成講座の様子



公共施設に設置した緑のカーテンの様子

(4) 循環型社会の形成

ごみの減量と資源化の普及・啓発

【取組み内容等】

- ① 環境のことを考えたエコクッキング教室をエコメッセフェスタ(29 ページ参照)やかすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(30 ページ参照)主催のイベントとして開催しました。  
「買い物」ではマイバッグを持参し、地産地消を心がけ、必要な分だけ買う。「料理」では食材とエネルギーの無駄をなくす。「片付け」では生ごみは水気を切ってから捨てるなど、料理を通してごみの減量や環境について学ぶことができました。



エコクッキング教室の様子








- ② 青空教室:26 ページ(環境基本計画 具体的取組み番号 184)をご覧ください。



## 第2節 適応策（気候変動の影響に対処する取組み）

### (1) 健康（熱中症対策）

メール・ホームページなどによる情報提供、注意喚起		分野別施策 1									
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>子育て情報発信サイト「春日井ハッピーママズ」のメルマガ登録者や、安全安心メールを通じて熱中症の注意喚起メールを送信するほか、市ホームページを通じた情報提供を行いました。</p> <p>※安全安心メール:「春日井市安全安心情報ネットワーク」に情報配信登録をされた方に気象情報(気象、地震、避難勧告等)などをメールで配信</p> <p>メールでの注意喚起(平成 30 年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>登録数(平成 30 年度末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春日井ハッピーママズ(随時配信)</td> <td>20 回</td> <td>933 件</td> </tr> <tr> <td>安全安心メール(週次配信)</td> <td>8 回</td> <td>21,578 件</td> </tr> </tbody> </table>				回数	登録数(平成 30 年度末)	春日井ハッピーママズ(随時配信)	20 回	933 件	安全安心メール(週次配信)	8 回	21,578 件
	回数	登録数(平成 30 年度末)									
春日井ハッピーママズ(随時配信)	20 回	933 件									
安全安心メール(週次配信)	8 回	21,578 件									
		 <p>ハッピーママズ</p>  <p>安全安心メール</p> <p>QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>									

出前講座の実施		分野別施策 1
<p><b>【取組み内容等】</b></p> <p>学校等各種団体の依頼により、熱中症の概要と予防策についての知識を深めるための熱中症予防講話を平成 30 年度は2回実施し、265 名の参加がありました。</p>		
 <p>月別搬送人員（春日井市）</p>		 <p>QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>
 <p>こんな日、場所では要注意</p> <p>気温が高い 湿度が高い 風が弱い 日差しが強い 照り返しが強い 軽いものがそばにある 急に暑くなった</p>		
<p>「熱中症予防講話」説明スライドの一部</p>		

【取組み内容等】

平成 30 年度にドライミスト扇風機を導入し、熱中症対策として市が実施する夏季の屋外イベント等に設置しました。

ドライミスト扇風機の貸出実績(平成 30 年度)

貸出期間	日数	場所	イベント名
6月8日 ~ 6月9日	2	市役所	消費生活展 2018
6月13日 ~ 6月21日	9	都市緑化植物園	トロピカルガーデンフェア
7月13日 ~ 7月18日	6	文化フォーラム	松竹大歌舞伎
7月19日 ~ 7月29日	8	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
8月1日	1	文化フォーラム	エコライフセミナー
8月6日 ~ 8月7日	2	西山訓練場	中学校少年消防クラブ員消防活動体験
8月8日 ~ 8月22日	12	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
8月24日 ~ 8月28日	5	牛山公園	平成 30 年度春日井市総合防災訓練
8月28日 ~ 8月31日	4	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
8月31日 ~ 9月3日	4	総合体育館	健康救急フェスティバル
9月5日 ~ 9月6日	2	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
9月16日 ~ 9月17日	2	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
9月21日 ~ 9月23日	3	落合公園	市制 75 周年記念事業特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会
9月23日 ~ 9月24日	2	交通児童遊園	施設利用者向けに稼働
10月5日 ~ 10月10日	6	総合体育館	かすがい！スポーツフェスティバル

ドライミスト扇風機の紹介

細霧冷房

暑さ対策/ヒート  
アイランド抑制効果

細冷ミスト噴霧により周囲の  
温度を屋内外ともに5度以上低  
下！猛暑、ヒートアイランド対  
策に効果を発揮！

清涼・癒し

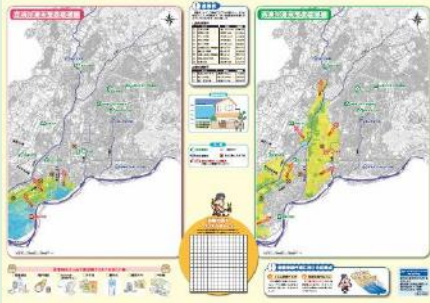


体感と視覚による清涼

気化熱の作用により外気・体感  
温度が下がり、肌にミストが付着  
するとスッと涼しくなる清涼感は  
抜群！体感だけではなく視覚から  
の清涼感も得ることがで  
きます。



- ・最大風速約 10m/秒の強力ファン。
- ・キャスター付きで移動が容易。
- ・100V 電源と水道水源を接続するだけで稼働。

(2) 自然災害（洪水・内水対策）

<b>洪水ハザードマップによる情報提供・注意喚起 安全・安心メールによる情報提供・注意喚起</b>		分野別施策 2
<p><b>【取り組み内容等】</b> 庄内川、内津川、八田川の洪水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップを作成し、自然災害が想定される区域及び避難場所、避難経路を示しています。 また、洪水等により避難が必要となった場合に、市ホームページ、緊急速報メール、安全安心メール※、Lアラート、ツイッター、広報車等様々な手段を用いて避難情報を提供しています。平成30年度は、9月30日に台風24号による避難準備・高齢者等避難開始情報を発令しました。</p>		
 <p>洪水ハザードマップ</p>	<p>※安全安心メール:「春日井市安全安心情報ネットワーク」に情報配信登録をされた方に気象情報(気象、地震、避難勧告等)などをメールで配信</p>	 <p>洪水ハザードマップ</p>  <p>安全安心メール QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>

洪水ハザードマップ

<b>雨水貯留浸透施設の設置促進</b>		分野別施策 2									
<p><b>【取り組み内容等】</b> 大雨時の浸水被害を軽減させるため、学校のグラウンドや公園に表面貯留施設や地下貯留施設を設置し、雨水流出抑制対策を推進しています。</p>											
<p>整備施設(平成30年度)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>施設名等</th> <th>所在地</th> <th>貯留量 (立法メートル)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地蔵ヶ池公園調整池</td> <td>勝川町</td> <td>6,300</td> </tr> <tr> <td>勝川駅南公園</td> <td>松新町</td> <td>2,940</td> </tr> </tbody> </table>			施設名等	所在地	貯留量 (立法メートル)	地蔵ヶ池公園調整池	勝川町	6,300	勝川駅南公園	松新町	2,940
施設名等	所在地	貯留量 (立法メートル)									
地蔵ヶ池公園調整池	勝川町	6,300									
勝川駅南公園	松新町	2,940									
 <p>勝川駅南公園</p>		 <p>QRコードを読み込んで春日井市HPへアクセス</p>									

(3) 国民生活・都市生活（ヒートアイランド等対策）

<b>緑化の推進</b>		分野別施策 3
<p><b>【取り組み内容等】</b> 緑のカーテンの推進:38 ページをご覧ください。</p>		

<b>環境教育の推進、情報提供</b>		分野別施策 3
<p><b>【取り組み内容等】</b> 環境学習講座の実施:35 ページをご覧ください。</p>		

## 第4章 成果指標の進捗状況

春日井市地球温暖化対策実行計画では温室効果ガス削減に向けた施策の進捗度を客観的に点検・評価するための指標を設定しており、それぞれの進捗状況は次のとおりです。

なお、民生業務部門、運輸部門の温室効果ガス排出量の削減目標は、本市の取り組みだけでなく、国、愛知県が実施する施策に協調、補完することで愛知県全体として達成を目指します。

このため、「あいち地球温暖化防止戦略2030」において設定する指標・目標値を本市の指標に用います。

### ○ 成果指標の推移

指標	単位	平成25年度 (2013) 基準年度	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	令和12年度 (2030) 目標値	
<民生家庭部門> 各世帯の1か月あたりの 平均の電気使用量 <sup>※1</sup>	kWh	286	269	259	276	267	246	14%削減
<民生家庭部門> 各世帯の1か月あたりの 平均のガス使用量 <sup>※1</sup>	m <sup>3</sup>	27.8	27.9	26.7	26.9	25.8	23.9	14%削減
<民生業務部門> 延床面積1㎡あたりの 年間エネルギー消費量	GJ	0.31	0.30	0.29	0.29	— <sup>※2</sup>	0.21	32%削減
<運輸部門> 自動車1台あたりの 年間化石燃料消費量	kl	1.02	0.98	1.01	1.00	— <sup>※2</sup>	0.71	30%削減

※1 基準値は平均値のため、世帯の構成人数や季節等により実際の使用量と差が生じる場合があります。また、ガス使用量は都市ガス使用量を指します。

※2 2017年については、未公表。(2019年度末公表予定)



## 皆様のご意見・ご感想をお聞かせください

本報告書に関してご意見・ご感想がございましたら、郵送、FAX、Eメールにて、市環境政策課までお寄せください。

**春日井市環境部環境政策課**

**〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地**

**電話：0568-85-6216 FAX：0568-84-8731**

**Eメール：kansei@city.kasugai.lg.jp**